令和３年度

事 業 報 告 書

事業報告の附属明細書

自：令和 ３ 年 ４ 月 １ 日
至：令和 ４ 年 ３ 月 ３１ 日

社会福祉法人
伊勢崎市社会福祉協議会

<目次>

□総務企画課 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1

１．法人運営、財務・人事管理等会務の運営
２．苦情解決体制の整備
３．自主財源の確保
４．連絡調整、調査・研究事業、広報活動の実施
５．総合企画関連事業の実施
６．その他の事業・業務

□地域福祉推進課 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 5

１．地域福祉推進事業
２．地域共生社会の実現に向けた地域づくりの推進
３．相談事業の開催
４．権利擁護体制の充実
５．生活困窮者への支援
６．社会参加・生活支援充実
７．関係団体等への支援
８．各支所との連絡調整
９．共同募金会への協力
１０．戦没者等追悼式の執行
１１．ボランティア・市民活動センター
１２．障害者相談支援センター
１３．その他の地域福祉推進

□赤堀支所 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ２２

１．地域福祉活動の推進事業
２．赤堀地区社会福祉協議会

□あずま支所 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ２４

１．地域福祉活動の推進事業
２．あずま地区社会福祉協議会

□境支所　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・２６
１．地域福祉活動の推進事業
２．境地区社会福祉協議会

□在宅福祉課　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・２８
１．介護保険事業の経営
２．障害者福祉サービス事業の実施
３．その他

□施設管理課　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・４１
１．指定管理施設の管理運営
２．いせさき絆コンサートの開催
３．社会福祉会館の管理

注記：事業報告の附属明細書につきましては、事業報告と一体として作成しています。

□総務企画課

１．法人運営、財務・人事管理等会務の運営

○理事会

・第１回　令和３年６月４日（金）　※決議の省略

（１）議案第１号　令和２年度事業報告書及び事業報告の附属明細書の承認について

（２）議案第２号　令和２年度計算関係書類及び財産目録の承認について

（３）議案第３号　理事の候補者について

（４）議案第４号　監事の候補者について

（５）議案第５号　評議員候補者の推薦について

（６）議案第６号　評議員選任・解任委員の選任について

（７）議案第７号　利益相反取引について

（８）議案第８号　令和３年度第１回評議員会について

・第２回　令和３年６月２４日（木）　場所：社会福祉会館４階第１会議室

（１）会長の選定について

（２）副会長の選定について

・第３回　令和３年７月２９日（木）　場所：社会福祉会館４階第１会議室

（１）　議案第９号　　令和３年度資金収支予算の補正について

（２）　議案第 10 号　表彰等対象者の審査及び決定について

・第４回　令和３年９月２４日（金）　※決議の省略

（１）議案第 11 号　令和３年度資金収支予算の補正について

・第５回　令和３年１２月２４日（金）　場所：社会福祉会館４階第１会議室

（１）　議案第 12 号　令和３年度資金収支予算の補正について

・第６回　令和４年３月１０日（木）　※決議の省略

（１）　議案第 13 号　令和３年度資金収支予算の補正について

（２）　議案第 14 号　令和４年度事業計画（案）について

（３）　議案第 15 号　令和４年度資金収支予算（案）について

（４）　議案第 16 号　令和３年度第２回評議員会について

（５）　議案第 17 号　役員等賠償責任保険契約について

○評議員会

・第１回　令和３年６月２４日（木）　場所：社会福祉会館４階第１会議室

（１）議案第１号　令和２年度事業報告書及び事業報告の附属明細書の承認について

（２）議案第２号　令和２年度計算書類及び財産目録の承認について

（３）議案第３号　理事の選任について

（４）議案第４号　監事の選任について

・第２回　令和４年３月２５日（金）　場所：社会福祉会館４階第１会議室

（１）議案第５号　令和４年度事業計画（案）の承認について

（２）議案第６号　令和４年度資金収支予算（案）の承認について

２．苦情解決体制の整備

福祉サービスに係る利用者からの苦情を解決する体制を整備し、利用者の権利を擁護すること、また、利用者が本会の福祉サービスを適切に利用できるよう支援することを目的としています。

情報公開第三者委員会については、情報公開規程における開示申出者の立場や特性に配慮した適切な対応を推進するために設けられています。

苦情解決に関する第三者委員及び情報公開第三者委員は各３人です。

（１）苦情解決に関する第三者委員・情報公開に関する第三者委員　第１回合同会議

日 時：令和３年１２月１４日（火）

場 所：社会福祉会館　４階第１会議室

○苦情解決に関する第三者委員会

・令和２年１１月～令和３年１１月現在までの苦情等解決状況報告

・意見交換ほか

○情報公開に関する第三者委員会

・状況報告

・その他

３．自主財源の確保

本会の運営は、会員である住民、団体等の会費でまかなわれており、様々な福祉活動を展開するための財源の確保として、会員より一般会費、賛助会費、特別会費を納めていただいています。

（１） 一般会費

本会の目的に賛同し、市内に住所を有する世帯より会費を納めていただきました。

＜年額１世帯あたり 400 円＞

	世帯数（世帯）		納入額（円）	
合 計	令和３年度	令和２年度	令和３年度	令和２年度
	75,854	75,252	30,341,580	30,100,800

（２）賛助会費

本会の目的に賛同する福祉団体等の賛助会員より会費を納めていただきました。

＜年額１口 1,000 円＞

納入件数		納入口数		納入額（円）	
令和３年度	令和２年度	令和３年度	令和２年度	令和３年度	令和２年度
110	111	270	269	270,000	269,000

（３）特別会費

本会の目的に賛同する会社、団体等の特別会員より会費を納めていただきました。

＜年額１口 5,000 円＞

納入件数		納入口数		納入額（円）	
令和３年度	令和２年度	令和３年度	令和２年度	令和３年度	令和２年度
54	50	91	86	454,230	430,000

４．連絡調整、調査・研究事業、広報活動の実施

（１）広報紙「社協いせさき　かがやき」の発行

地域福祉の推進と啓発を目的に、本会の各種事業や募集等の情報を掲載した広報紙を発行しました。Ａ４カラー4 ページの広報紙を、7 月・11 月・3 月の年 3 回にわたって、市内全戸及び社協会員並びに関係機関に配布しました。

（２）ホームページの管理運営

事業計画及び報告並びに計算書類等の公開の他、各種事業等の募集及び職員求人等について市民等に広く情報発信する為に、本会ホームページの適切な管理運営を実施しました。

また、更なる利便性の向上等を目的に、ホームページの全面リニューアルを実施しました。

５．総合企画関連事業の実施

（１）伊勢崎市社会福祉大会の実施

地域福祉のより一層の推進を目指すとともに、永年にわたり社会福祉事業の発展に功績のあった方々を表彰し、感謝の意を表することを目的として開催しました。

なお、今年度開催分については、新型コロナウイルスによる影響を踏まえて開催方法を変更し、例年実施している式典及び講演会を中止とし、表彰状等の贈呈のみ実施いたしました。

日　時：令和３年１０月２６日（火）
受賞者：表彰の部　１１２人（前年度：１００人）
　　感謝の部　　４０人、２団体（前年度：３４人、６団体）

６．その他の事業・業務

（１）実習生の受け入れ

国家資格「社会福祉士」の受験資格取得のための学生を受け入れ、社会福祉協議会事業の実習を行いました。

学校名・受入人数	受入期間	日数・時間
高崎健康福祉大学 健康福祉学部３年　１人 （前年度：１人）	令和３年８月１１日～９月１７日	２４日間・１８６時間

□地域福祉推進課

１．地域福祉推進事業

（１）地区社協活動の活性及び支援

各地区社協に地区社協強化費の助成を行い、活動を支援しました。

（２）福祉関係諸団体との連絡調整

民生委員児童委員連絡協議会、区長会等の諸団体と協力し各種事業に取り組みました。

２．地域共生社会の実現に向けた地域づくりの推進

（１）我が事・丸ごとの地域づくりを推進

地域共生社会の実現に向けて、地域や各団体等での勉強会等を通じて、地域の支え合いの体制づくりについての理解を促すとともに、様々な立場の職員が地域づくりに携わり、地域との連携に努めました。

（２）伊勢崎市との連携による第１層協議体及び第２層協議体の運営支援

伊勢崎市から生活支援体制整備業務を受託し、第１層・第２層協議体にそれぞれ生活支援コーディネーター（ＳＣ）等推進メンバーを配置し、生活支援コーディネート業務及び協議体の事務局として運営を支援しました。

令和３年度は、新型コロナウイルス感染症のため、休止、再開、休止を繰り返しましたが、社協広報紙“かがやき”や協議体事務局だよりをとおして協議体関連の活動を周知しました。

①第１層協議体

第５回協議体　令和４年３月２８日（月）

②第２層協議体

地区	協議体名	主な会場	開催回数		延参加人数	
			Ｒ３	Ｒ２	Ｒ３	Ｒ２
北	北のきずな	社会福祉会館	５回	４回	58 人	74 人
南	南十字星	南公民館	３回	４回	24 人	58 人
殖蓮	殖蓮地域支え合い協議体	絆の郷	６回	３回	46 人	40 人
茂呂	茂呂支え合い＝絆づくり＝	茂呂公民館	５回	３回	49 人	37 人
三郷	みさとほほえみクラブ	三郷公民館	３回	３回	38 人	69 人
宮郷	宮郷圏域協議体	宮郷公民館	５回	５回	83 人	108 人

名和	名和ささえあいネット	名和公民館	４回	４回	42 人	59 人
豊受	ささえ愛ネット豊受	豊受公民館	４回	３回	43 人	55 人
赤堀	あかぼり地域支え合い協議体	赤堀保健福祉センター	３回	４回	17 人	51 人
東	あずま地区協議体	高齢者生きがいセンター	２回	４回	18 人	51 人
境	さかい支え合い協議体	境地域福祉センター	７回	４回	85 人	58 人
合　　計			47 回	42 回	503 人	660 人

（３）各日常生活圏域での関係機関との協働・連携強化

市地域包括支援センター、各圏域の高齢者相談センター、障害者基幹相談支援センター、社会福祉施設・医療機関等、様々な関係機関との連携強化に努めました。

（４）群馬県社会福祉協議会　地域共生社会アドバイザー派遣事業

令和２年度に続き、群馬県社会福祉協議会、地域共生社会アドバイザー派遣事業のフォローアップとして、介護保険事業の実績をもとにした経営分析と正規職員による経営検討会での取組み等について助言を頂きました。

また、この取組みが市町村社協トップセミナー（令和４年２月１５日）で事例報告できたことで、役職員の意識づけにつながりました。当日アドバイザーからは地域福祉部門と介護部門の連携を深め、地域共生社会の実現に向けた事業へとつながるよう助言を頂きました。

３．相談事業の開催

（１）心配ごと相談事業（各支所に相談所を開設）

社会福祉会館（第１、第３及び第５月曜日）及び赤堀（第２、第４火曜日）・あずま（第１、第３及び第５水曜日）・境（第２、第４金曜日）各支所にて相談所を開設し、市民の日常生活上の課題克服に関する相談に応じ適切な助言指導を行いました。

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、年間を通して電話相談のみで対応いたしました。

○相談件数

	伊勢崎		赤堀		あずま		境		合計	
年　度	Ｒ３	Ｒ２	Ｒ３	Ｒ２	Ｒ３	Ｒ２	Ｒ３	Ｒ２	Ｒ３	Ｒ２
開催日数(日)	24	26	23	22	25	26	22	23	94	97
相談件数(件)	32	28	24	14	23	13	18	12	97	67

○相談状況　　（件）

	解　決		再　来		民生委員		他機関		その他		計	
年　　度	Ｒ３	Ｒ２	Ｒ３	Ｒ２	Ｒ３	Ｒ２	Ｒ３	Ｒ２	Ｒ３	Ｒ２	Ｒ３	Ｒ２
生　　計	3	1	1	1	0	0	3	1	1	1	8	4
年　　金	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
職業・生業	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	2	0
住　　宅	3	0	0	0	0	1	0	2	2	2	5	5
家　　族	15	14	5	2	4	2	6	10	5	3	35	31
結　　婚	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
離　　婚	0	0	0	0	0	1	0	2	0	0	0	3
健康・保健・衛生	2	3	0	0	0	0	0	0	0	1	2	4
医　　療	3	0	2	0	0	0	3	2	0	0	8	2
人権・法律	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	1	1
財　　産	0	1	0	0	1	0	2	1	0	0	3	2
事　　故	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1
児童福祉・母子保健	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
教育・青少年	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
障害者（児）福祉	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
母子福祉・父子福祉	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
高齢者福祉	0	0	0	0	1	0	2	0	0	0	3	0
苦　　情	5	2	0	0	2	0	1	0	1	1	9	3
そ　の　他	13	0	1	2	1	3	2	2	4	3	21	10
合　　計	45	21	9	5	9	7	20	22	14	12	97	67

（２）結婚相談事業

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため事前予約制による相談業務を行い、４月～１１月は金曜日のみの開催とし、１２月から日曜日の相談受付を再開しました。

「出会いの場」の提供として令和４年１月３０日（日）に開催した婚活パーティーでは、参加者への抗原検査の実施、リモートによる自己ＰＲなど、コロナ対策を取りながら行いました。参加人数を減らし、男女各１０人ずつ参加した中で７組のカップルが成立しました。

登録者数	Ｒ３	Ｒ２	相談件数・相談状況	Ｒ３	Ｒ２
男	105 人	131 人	開催日数	56 日	32 日
女	51 人	61 人	相談件数	169 件	215 件
計	156 人	192 人	お見合い（延べ）	17 件	15 件
			交際中（延べ）	88 組	94 組
			所内結婚成立	2 組	3 組

（3）その他必要な相談

社会福祉法人の地域貢献事業として実施されている「群馬県ふくし総合相談支援事業」に参画し「なんでも福祉相談員」を配置して、生活や福祉に関する相談を受けました。

また、日常業務での各種相談の対応に努めました。

4．権利擁護体制の充実

（1）日常生活自立支援事業

認知症高齢者・知的障害者・精神障害者など判断能力が不十分な利用者に対し、福祉サービスの利用援助や日常的金銭管理サービス等を行うことにより、地域の中で安心した生活が送れるよう援助を行いました。

事業対象地域	伊勢崎市、（佐波郡）玉村町

○事業状況

		R３	R２
相談件数	総件数	2,450 件	3,863 件
相談形態	訪問相談	0 件	2 件
	電話相談	2,376 件	3,821 件
	来所相談	74 件	40 件
	その他	0 件	0 件
相談分野	認知症高齢者	260 件	618 件
	知的障害者	383 件	717 件
	精神障害者	1,616 件	2,378 件
	身体障害者	0 件	0 件
	寝たきりの高齢者	0 件	0 件
	その他	191 件	150 件
申請件数	総件数	8 件	24 件
契約締結審査会依頼数	審査依頼件数	0 件	0 件
支援計画策定状況	策定件数	8 件	24 件
内　訳	認知症高齢者	2 件	7 件
	知的障害者	2 件	8 件
	精神障害者	4 件	9 件
	身体障害者	0 件	0 件
	寝たきりの高齢者	0 件	0 件
利用契約の締結状況	契約締結件数	8 件	24 件
内　訳	認知症高齢者	2 件	7 件
	知的障害者	2 件	8 件
	精神障害者	4 件	9 件

	身体障害者	0 件	0 件
	寝たきりの高齢者	0 件	0 件
生活保護受給者数	上記利用契約のうち 生活保護受給者数	5 人	10 人
生活支援員の登録状況	生活支援員登録者数	18 人	27 人
生活支援員の雇用状況	生活支援員の雇用者数 （延べ人数）	18 人	21 人

○相談者数

	認知症高齢者		知的障害者		精神障害者		その他		計	
年　度	Ｒ３	Ｒ２	Ｒ３	Ｒ２	Ｒ３	Ｒ２	Ｒ３	Ｒ２	Ｒ３	Ｒ２
計	260	618	383	717	1,616	2,378	191	150	2,450	3,863

○契約者数

	認知症高齢者		知的障害者		精神障害者		その他		計	
年　度	Ｒ３	Ｒ２	Ｒ３	Ｒ２	Ｒ３	Ｒ２	Ｒ３	Ｒ２	Ｒ３	Ｒ２
新規契約者数	2	7	2	8	4	9	0	0	8	24
継続契約者数	18	19	32	25	61	56	0	0	111	100
計	20	26	34	33	65	65	0	0	119	124

○援助状況

	延べ利用者数		援助時間数	
計	Ｒ３	Ｒ２	Ｒ３	Ｒ２
	1,287 人	1,397 人	1,945 時間	2,126 時間

（２）障害者相談支援事業及び市地域包括支援センターとの連携強化

障害者基幹相談支援センターや地域包括支援センター等からの相談に対応し、関係機関との連携強化に努めました。

（３）成年後見制度等の相談援助

成年後見制度の概要説明や専門職団体等の紹介をしました。

（４）市民後見人の育成活動支援

県及び県社協からの資料を参考に情報収集に努めました。

（５）啓発・研修事業の実施・協力

成年後見制度への理解促進等を目的に、群馬県社会福祉協議会より成年後見制度推進事業の指定を受け、職員向け研修会を開催しました。（２月２日　３月７日　延べ参加者４９名）

（６）関係機関連絡会議等の開催

一般社協（玉村町社協）と連絡会議を開催し情報の共有に努めました。

５．生活困窮者への支援

（１）生活福祉資金貸付事業

群馬県社会福祉協議会が実施する生活福祉資金貸付事業について、民生委員や関係機関の協力を得ながら、伊勢崎市における相談窓口の役割を担いました。

令和３年度も前年度に引き続き、「新型コロナウイルス感染症の影響を受けて収入が減少した世帯に対する特例貸付」を年間通して受付けており、ピークは過ぎたものの貸付件数・金額とも高い水準となっております。

○生活福祉資金貸付申請状況　（円）

資金種類			件数		金額	
			R3	R2	R3	R2
生活福祉資金	総合支援資金	生活支援費	0	0	0	0
		生活支援費（＊特例貸付）	809	1,515	384,700,000	728,890,000
		生活支援費（＊特例延長貸付）	225	544	117,600,000	282,000,000
		生活支援費（＊特例再貸付）	717	155	374,510,000	80,550,000
		住宅入居費	0	0	0	0
		一時生活再建費	0	0	0	0
		計	1,759	2,214	876,810,000	1,091,440,000
	福祉資金	福祉費	3	0	696,000	0
		緊急小口資金	1	4	100,000	400,000
		緊急小口資金（＊特例貸付）	815	3,073	149,890,000	588,060,000
		計	819	3,077	150,686,000	588,460,000
	教育支援資金	教育支援費	1	6	144,000	3,578,000
		就学支度費	4	7	1,381,000	2,583,000
		計	5	13	1,525,000	6,161,000
	不動産担保型生活資金	不動産担保型生活資金	0	0	0	0
		要保護世帯向け不動産担保型生活資金	2	2	819,000	984,000
		計	2	2	819,000	984,000
	合計		2,585	5,306	1,029,840,000	1,687,045,000
臨時特例つなぎ資金			0	0	0	0
総合計			2,585	5,306	1,029,840,000	1,687,045,000

（２）生活一時資金貸付事業

市内に居住する低所得世帯で生活困難におちいった世帯に対し、一時的に必要な生活資金を貸付けするとともに、償還に対する援助指導を行い、世帯の安定を図り生活の向上に向けた支援を行うことができました。

○生活一時資金貸付・償還状況　（円）

	申請件数		貸付決定件数		貸付金額		償還件数		償還金額	
年度	Ｒ３	Ｒ２	Ｒ３	Ｒ２	Ｒ３	Ｒ２	Ｒ３	Ｒ２	Ｒ３	Ｒ２
計	4	17	4	17	120,000	490,000	11	28	105,000	530,000

年度末貸付原資残高 886,246 円

（３）高額療養費つなぎ資金貸付事業

国民健康保険法に基づく高額療養費が適用され、入院等で高額となった医療費の支払いが困難な世帯に対し資金を貸付けることにより、医療機関への支払が可能となり、療養費を心配することなく治療を行うことができ、生活の安定を図ることができました。

○高額療養費貸付状況　（円）

	申　請　件　数		決　定　件　数		貸　付　金　額	
年 度	Ｒ３	Ｒ２	Ｒ３	Ｒ２	Ｒ３	Ｒ２
計	48	31	48	31	8,388,995	10,229,285

（４）生活困窮者自立支援事業の協力

市が実施する生活困窮者自立相談支援事業支援調整会議に出席し、支援プラン作成に協力しました。

・支援調整会議開催回数　１２回（前年度：５回）　※うち書面開催８回

６.社会参加・生活支援充実

（１）車いすの貸出事業

介護保険において自立と判定された者等に対し福祉機器の貸出を行い、在宅福祉の向上を図り、利用者の外出や移乗の援助を行うことができました。

（件）

		伊勢崎	赤堀	あずま	境	計
車いす延べ利用件数	Ｒ３	59	10	23	14	106
	Ｒ２	45	6	13	14	78

（２）福祉車両の貸出事業

身体障害者等が外出する際の車いす用低床車を家族等に貸出すことで、外出を容易にし、通院や買い物など日常生活を行う場合の利便性を図り、社会参加及びレクリエーション活動等への参加に対する交通手段を確保することができました。

○貸出状況

	延べ利用者数		貸出日数		走行距離	
年　　度	Ｒ３	Ｒ２	Ｒ３	Ｒ２	Ｒ３	Ｒ２
ボランティアセンター	103 件	54 件	44 泊 149 日	21 泊 73 日	3,725 ㎞	2,105 ㎞
あずま支所	72 件	48 件	59 泊 130 日	18 泊 66 日	3,585㎞	2,402㎞
境支所	76 件	49 件	23 泊 72 日	23 泊 72 日	3,839㎞	1,551㎞
合　　計	256 件	151 件	126 泊 351 日	62 泊 211 日	11,149 ㎞	5,698 ㎞

○使用車両

	使 用 車 両
ボランティアセンター	ホンダＮＢＯＸ（平成２６年７月から社協でリース）
あずま支所	トヨタシエンタウェルキャブ(平成 28 年登録社協保有車)
境支所	ホンダＮＢＯＸ（平成２７年３月から社協でリース）

（３）地域支え合い車両貸出事業

地域の支え合い活動を実施する団体等に対し、高齢者等が買い物や通院等で外出する際の移動支援に使用する車両を貸出すことで、高齢者等の社会参加を図り、地域の支え合い活動を推進することができました。

また、令和２年度から群馬県共同募金会『今ある活動を「そだてる」助成』（ＮＨＫ歳末たすけあい配分）２年目の助成を受け、新しい車両１台の貸出をしています。

年 度	登録団体	利用回数	運転者数	支援者数	対象者数	利用時間	走行距離
令和３年度	３団体	36 回	36 人	44 人	57 人	99 時間	840 ㎞
令和２年度	３団体	36 回	36 人	47 人	66 人	99 時間	868 ㎞

※令和３年度、地域支え合い車両運転者等安全運転講習会（令和４年３月２９日）を開催し「事故防止の考え方」を学習しました。　参加者:移動支援活動団体関係者２４名

（4）意思疎通支援事業

伊勢崎市からの委託を受け、市内在住の聴覚障害者の需要に応じた事業（手話通訳者設置事業・手話通訳者派遣事業）を実施することにより意思疎通の保障を確保し、自立と社会参加の促進を図ることを目的に実施しました。

①手話通訳者設置事業

緊急時の通訳対応や、団体活動の連絡、生活上の情報提供などが増加となりました。

・手話通訳者設置場所　　伊勢崎市社会福祉協議会：地域福祉推進課
　　伊勢崎市障害者基幹相談支援センター
・手話通訳活動件数　　１，２６２件（前年度：１，０８４件）

○手話通訳活動別件数　（件）

年　度	依頼件数	通　訳	電話通訳	連絡打合せ	相　談	その他
R3	１，２６２	２７５	６５	５９２	３９	２９０
R2	１，０８４	２２７	７０	５８１	４５	１６１

○手話通訳内容別件数

年　度	公的機関	医療機関	教育・保育	職業・資格	大会・会議・講演会	団体活動	その他	合　計
R3	２０	２６３	３０	５８	０	１３３	７５８	１，２６２
R2	１６	３３１	５６	３８	０	９９	５４４	１，０８４

②手話通訳者派遣事業

昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症の影響を受けて、講演会や会議等の開催が中止となり、登録通訳者の派遣件数は減少のままでした。

・市登録手話通訳者　　２６人　（前年度：２６人）
　　【活動可能通訳者２３人（前年度：２３人）】
・派遣件数　　５６８件　（前年度：５４２件）
・派遣人数　　６０７人　（前年度：５５１人）

※大会、会議、講演会など２時間を超える内容等の派遣は、複数派遣しています。

※要約筆記者派遣事業については、市で実施しました。

７．関係団体等への支援

（1）関係団体との連携強化

関係団体等との連携に努めました。

（２）関係団体への育成援助及び助成

①伊勢崎市老人クラブ連合会

伊勢崎市老人クラブ連合会の事務局として、総会・役員会・各専門部会等の会議を開催しました。グラウンドゴルフ大会、スマイルボウリング大会、ゲートボール大会、輪投げ大会、芸能大会、会員相互の友愛訪問等の事業を実施予定でしたが、新型コロナウイルスの影響により中止しました。また、各支所においても各地区老人クラブの事業等を支援しました。

・会　長　　大貫　森次
・会員数　　９，０８４人（前年度：９，５６０人）
・総　会　　令和３年５月１４日（金）　※書面開催
・役員会･専門部会等開催　１３回

②一般財団法人群馬県遺族の会伊勢崎支部

遺族の会伊勢崎支部の事務局として、総会・役員会等の会議を開催し、国・県・市戦没者追悼式に参列。靖国神社・県護国神社参拝等の事業を実施するとともに、県遺族の会主催の海外戦跡慰霊巡拝、沖縄「群馬の塔」慰霊参拝事業に参加しますが、新型コロナウイルスのため事業は中止になりました。

また、各支所においても各地区の遺族会への会議・事業等を支援しました。

・支部長　　井上　清行
・会員数　　６１７人（前年度：６６７人）
・総　会　　令和３年５月１３日（木）　※書面審議
・役員会等開催　２回

③伊勢崎市母子会

離婚や死別などで配偶者をなくした母子世帯（父子世帯）の自立支援と会員相互の親睦を深めるために設立された団体であり、ふれあい交流事業（若年・寡婦）の実施、県・市各種大会への参加等を支援していますが、新型コロナウイルスのため事業は中止になりました。

・会　長　　須永　美津江
・会員数　　３１人（前年度：３０人）
・総　会　　令和３年４月１３日（火）　※書面審議
・役員会議等開催　５回

④伊勢崎保護区保護司会

罪を犯した人が社会復帰するための手助けをする、法務省から委嘱を受け結成された団体であり、第７１回社会を明るくする運動事業の積極的推進、自主研修会の実施、県・市各種大会への参加等を支援しました。

・会　長　　齋藤　道明
・会員数　　７９人（前年度：８１人）
・総　会　　令和３年５月３１日（月）　※書面開催
・役員会議等開催　４回（前年度：３回）

⑤伊勢崎地区更生保護女性会

女性としての立場から更生保護活動に協力するボランティア団体であり、全国及び県更生保護女性連盟に関係する各大会・研修会への出席・事業協力等を支援しました。

・会　長　　山下　美津子
・会員数　　４４６人（前年度：４６７人）
・総　会　　令和３年５月１４日（金）　※書面開催
・役員会議等開催　１０回

⑥更生保護サポートセンター伊勢崎の運営協力

職業支援センターいせさき（宮子町）内に設置したセンターに７人の企画調整保護司が交代で常駐し、対象者との面接等に利用した他、主任保護観察官の定期駐在や、保護司会役員会等の会場としても活用しました。

⑦伊勢崎ボランティア協会

伊勢崎ボランティア協会の事務局として、総会・役員会等の会議を開催するとともに、地域福祉を推進するための様々な活動を支援しました。

・会　長　　小倉　良枝
・会員数　６８５人（前年度：６９７人）
・総　会　　令和３年５月２７日（木）　※書面審議
・役員会議等開催　１２回

⑧団体等助成金事業

伊勢崎市内に活動拠点を置く当事者団体等に対し、活動費を助成しました。

区　分	助成団体数	
	Ｒ３	Ｒ２
当事者団体、援護団体、福祉活動団体	１０	１０
地区社協	１１	１１

（3）ボランティア団体等への助成

伊勢崎市内に活動拠点を置くふくしボランティア団体等に対し、活動費を助成しました。

区　分	助成団体数	
	Ｒ３	Ｒ２
ボランティア団体	１７	２０

（4）地域活動支援事業

新設ボランティア団体等への助成

令和２年度新たに地域福祉活動を開始した団体(事業)に対し、活動費を助成しました。

区　分	助成団体数	
	Ｒ３	Ｒ２
新設ボランティア団体等	２	０

８．各支所との連絡調整

（１）赤堀支所に係る事業の連絡調整
（２）あずま支所に係る事業の連絡調整
（３）境支所に係る事業の連絡調整

９．共同募金会への協力

地域福祉と民間の社会福祉事業のための計画募金である「赤い羽根共同募金」と「歳末たすけあい募金」を、各行政区の区長はじめ、民生委員、ボランティア等関係団体の協力を得て実施するとともに、地域配分に係る申請受付・審査・配分業務を実施しました。

また災害時の対応として、火災にあわれた世帯に対して見舞金の贈呈を行ったほか、災害義援金の受付を実施しました。

・会　長　　中西　保
・運営委員会　　２回　※書面開催
・募金委員会　　２回　※書面開催
・運営委員・募金委員合同会議　１回　※書面開催

10. 戦没者等追悼式の執行

令和３年１１月１２日（金)、伊勢崎市文化センター大ホールで開催予定でしたが、新型コロナウイルス感染防止のため中止になりました。

11. ボランティア・市民活動センター

（１）ボランティア活動に関する相談・斡旋（コーディネート）
①ボランティア活動相談件数　７１件（前年度：５７件）
②ボランティア登録　個人　　７９０人（前年度：７６５人）
団体　１１５団体 7,５７９人(前年度:１２０団体　7,９６１人)
計 ８，３６９人（前年度：８，７２６人）

（２）ボランティアの養成講座開催・活動支援
①美味しいコーヒーの淹れ方講座
美味しいコーヒーの淹れ方を学び、コーヒーをきっかけに地域のつながりや交流の輪が広がることを目的に二日間開催しました。
６月２２日・７月１３日　計２６人参加

②福祉レクリエーション講座

ホスピタリティやアイスブレーキングの理念を取り入れ、手遊びや集団ゲームなどを用いて高齢者の方と良好なコミュニティづくりに役立てる方法について学ぶことを目的に８月３１日・９月７日に予定していましたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止となりました。

（３）災害ボランティア事業

①「伊勢崎市災害ボランティアセンターの設置・運営等に関する協定」締結

令和 4 年 3 月 24 日、伊勢崎市地域防災計画に基づく自発的支援の受け入れとして行う。センターの設置及びそれに伴うボランティア活動を円滑に実施するために、伊勢崎市及び本会の果たすべき役割と協力事項、費用負担等を定め、被災者の生活支援に寄与することを目的に「伊勢崎市災害ボランティアセンターの設置・運営等に関する協定」を伊勢崎市と締結した。

②災害ボランティアセンター設置時における運営ボランティア登録者募集

災害発生時に迅速に災害ボランティアセンターの運営を行うためのボランティアとして登録者を募集しました。

登録者数：４１人（前年度：４２人登録）

（４）市民ボランティアフェスティバルの開催（市と共催）

２月６日絣の郷にて開催を予定していましたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止となりました。

（５）ボランティア・市民活動団体情報交換会の開催（市と共催）

１２月２０日　絣の郷を会場に「協働による地域づくりを進めよう」をテーマに各種団体が参加し、群馬大学教授による講演と参加者による情報交換を実施しました。

※人数を制限しての開催

２２団体　３４人参加（前年度：１６団体　２４人参加）

（６）福祉教育の推進

社会福祉協力校を１校指定し活動を支援するとともに、総合学習における車いす・高齢者疑似体験等の体験学習を各学校等において実施し福祉教育を支援しました。

①社会福祉協力校の指定

学童・生徒が体験学習の機会を通して、社会福祉の関心を高め、日常生活の中で相互扶助、社会連帯の思想を浸透させるため、市内の小・中学校・高校を社会福祉協力校として指定、活動費の助成を行いました。

※令和３年度の指定校：三郷小学校　（前年度指定校：宮郷小学校）

②総合学習への協力（福祉体験教室への支援）

市内の小学校から依頼を受け総合学習等の時間に車いす・高齢者疑似体験等の福祉教育を福祉教育サポーターと共に支援しました。

なお、旧市内についてはボランティア市民活動センターで担い、旧町村域については各支所で担い活動を支援しました。

○福祉体験学習実施状況（学校別）

地域	学　校　名	学年	ｸﾗｽ	人数	月別	内　　容
伊勢崎	北第二小学校	4	1	32	11 月	車いす体験
	茂呂小学校	4	4	136	11 月	車いす体験 ブラインドウォーク体験
	三郷小学校	4	4	124	１月	車いす体験
	名和小学校	4	2	69	11 月	車いす体験
赤堀	赤堀南小学校	4	3	96	７月	車いす体験
	赤堀東小学校	4	2	60	6 月	車いす体験
あずま	あずま北小学校	4	3	77	10 月	車いす体験
境	境采女小学校	4	2	63	12 月	車いす体験
	境剛志小学校	4	2	49	12 月	車いす体験
合　計	9 校（延 9 校）		23	706		

（前年度：4 校（延 4 校）　14 クラス　426 人）

（7）介護支援ボランティア事業

６５歳以上の要支援・要介護認定を受けていない人が、介護支援ボランティア活動を行うことを通じて、高齢者の社会参加・社会貢献活動の奨励、介護予防と生きがいづくりの促進をするとともに、ボランティアが地域の支え手として活動できる地域社会づくりを推進しました。

・基本研修の実施

介護支援ボランティアについての概要説明、活動内容等について

計３回実施（前年度：３回実施）

７月２８日、１１月１６日、３月１７日

※５月１４日、９月１４日、１月２０日は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

・ボランティア活動対象施設

特別養護老人ホーム、介護老人保健施設、居宅サービス事業所、地域密着型サービス事業所　　計５８施設（前年度：５８施設）

・活動実績

登録人数　　４８６人（内、新規登録人数　２１人）

（前年度：４６５人（内、新規登録人数　１６人））

延べ活動人数　１００人(前年度：１７４人)

延べ活動時間　１９８時間(前年度：３３７時間)

○活動内容内訳　（時間）

活動内容	Ｒ３	Ｒ２
レクリエーション等の指導・参加支援	70	0
お茶出し・食堂内の配膳・片付けなどの補助	6	146
喫茶などの運営補助	0	0
散歩・外出・管内移動の補助	0	1
行事等の手伝い	0	0
傾聴・話し相手等	70	83
場内の整備(管内美化・植栽の手入れ等)	52	85
趣味活動等の指導	0	0
その他(施設職員と行う補助的活動)	0	22
計	198	337

（８）ままサロン“まま”のほっとステーション事業

子育てに悩みがちな母親がほっとできる空間をつくることを目的に、ボランティアの協力を得てサロンを開催しました。

・社会福祉会館ボランティアルーム（一部児童センターふれあいルーム）で毎月第３月曜日に開催

・４回開催　参加者：２７人　（前年度：７人）

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため８回は中止

（９）ボランティアネットワーク事業

登録制のボランティアメールを活用し、伊勢崎市内の福祉施設やボランティア団体などのボランティア募集・福祉関連イベント情報を配信しました。

メール登録施設：５８施設（前年度：５８施設）

メール登録ボランティア団体：７３団体（前年度：６８団体）

メール登録個人ボランティア：３０４人（前年度：２７７人）

(10) 認知症カフェ推進事業

認知症の人とご家族や、認知症について関心がある人など、誰でも立ち寄れ、ほっと過ごせる場づくりのため、ボランティアとの協働によりカフェ事業を推進しました。

３ヵ所計１６回開催（前年度：１３回開催）

・オレンジカフェよりみち

会場：市社会福祉会館（毎月第３水曜日の午前中を基本に開催）

・オレンジカフェほほえみ

会場：高齢者生きがいセンター（毎月第２木曜日の午前中を基本に開催）

・オレンジカフェおんたけやま

会場：境地域福祉センター（毎月第２月曜日の午前中を基本に開催）

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、スタッフのみによる連絡会の開催となりました。

12. 障害者相談支援センター

障害者総合支援法に基づく市町村の必須事業で、障害者の福祉に関する各般の相談に応じ、情報の提供及び福祉サービスの利用支援等を実施しました。また自立支援協議会に関しては新型コロナウイルス感染拡大防止のため開催中止となりました。

市から業務委託を受けた（社福）伊勢崎市愛のはぐるま会、（社福）明清会、（社福）桑の実福祉会、（社福）樫の木、（医）原会、（社福）群馬県社会福祉事業団と共に市障害者センター内にて、伊勢崎市基幹相談支援センターとして、身体・知的・精神の三障害を対象に相談支援事業を実施しました。

また障害を持つ相談員（ピアカウンセラー）による障害当事者同士の相談支援（ピアカウンセリング）を実施しました。

①相談支援の実施状況（社会福祉協議会実施分＝主に身体障害を担当しました。）

	区　　分	Ｒ３	Ｒ２
年間延べ支援者数	身体障害者	３０４人	４５３人
	身体障害児	９人	２３人
	重症心身障害者	１０人	３４人
	重症心身障害児	４人	２４人
	知的障害者	９３人	１０９人
	知的障害児	１５人	１０人
	精神障害者	３５人	８１人
	精神障害児	２人	０人
	発達障害者	０人	６人
	高次脳機能障害者	９人	５人
	その他（者）	５２人	９０人
	その他（児）	０人	２人
	合　計	５３３人 （実支援者数４１３人）	８３７人 （実支援者数７０１人）
年間支援回数	訪問	１３４回	１４８回
	来所相談	８１回	１１０回
	同行	０回	３０回
	電話相談	６９回	２１０回
	電子メール	２回	４回
	個別支援会議	６回	６回
	関係機関	２０６回	４４３回
	その他	５回	１回
	合計	５０３回	９５２回
支援内訳（うちピアカウンセリング）	福祉サービス利用	４５２件　（６件）	７２４件（１５件）
	障害・病状の理解	１件　（０件）	１６件（　１件）
	健康・医療	５０件（１０件）	１１５件（１１件）
	不安の解消・安定	５４件（　８件）	１６２件（１９件）
	保育・教育	３件（　０件）	５件（　０件）
	家族・人間関係	５１件（２５件）	１０６件（２５件）
	家計・経済	８件（　０件）	３６件（　１件）

	生活技術	６件（　１件）	３７件（　９件）
	就労	１２件（　１件）	３２件（　２件）
	社会参加・余暇支援	９件（　８件）	２３件（１４件）
	権利擁護	２件　（０件）	７件（　０件）
	その他	２７件（１４件）	２３件（　６件）
	合　計	６７５件（７３件）	１，２８５件（１０３件）

②市自立支援協議会(定例会)の運営

月	Ｒ３参加者	Ｒ２参加者	主な検討内容
５月	０人	０人	新型コロナウイルス感染拡大防止のため開催中止
６月	０人	０人	新型コロナウイルス感染拡大防止のため開催中止
７月	０人	０人	新型コロナウイルス感染拡大防止のため開催中止
９月	０人	０人	新型コロナウイルス感染拡大防止のため開催中止
１０月	０人	０人	新型コロナウイルス感染拡大防止のため開催中止
１１月	０人	０人	新型コロナウイルス感染拡大防止のため開催中止
１月	０人	０人	新型コロナウイルス感染拡大防止のため開催中止
２月	０人	０人	新型コロナウイルス感染拡大防止のため開催中止
３月	０人	０人	新型コロナウイルス感染拡大防止のため開催中止
計	０人	０人	

13. その他の地域福祉推進

（１）社会を明るくする運動への協力

推進委員会の事務局として、広報資材の作成・配布や作文コンテストへの協力等を行いました。

・令和３年６月２５日（金）　伊勢崎佐波推進委員会及び実行委員会　※書面開催

（２）その他必要な事業

地域福祉の推進に必要な事業を実施しました。

□赤堀支所

１．地域福祉活動の推進事業

（１）友愛訪問事業

一人暮らし高齢者等で見守りが必要と思われる方に対し、ボランティアが定期的に訪問し、安否確認や話し相手等の見守り活動を行いました。住民参加による地域福祉ネットワークを形成することができ、対象者の支援に役立ちました。

①定期友愛訪問（地域ごとに毎月１回）

ボランティアがヤクルトをお届けし、見守り活動を行いました。

訪問人数：延べ１，２７４人（前年度：１，２３８人）

②敬老友愛訪問

老人の日に因み前後にボランティアによる手づくりBOXティッシュカバーを贈り見守り活動を行いました。

訪問人数：１１１人（前年度：中止）

③年末友愛訪問

ボランティアによる手づくり蒸かし饅頭をお届けし、見守り活動を予定しておりましたが新型コロナウイルス感染予防のため中止といたしました。

（２）ふれあいサロン事業

地域の中で孤独になる人をつくらないということを目的として、小地域を単位としたふれあいの場を設け、サロン活動の支援を予定しておりましたが新型コロナウイルス感染予防のため中止といたしました。

（３）世代間交流事業

少子高齢化や核家族化が進む中、地域が一体となってネットワークの充実を図り、住みよい地域社会をつくることを目的に実施される世代間交流事業に対する支援を行いました。

（１１行政区、全１１回開催）

・実施主体　　赤堀地区社会福祉協議会、伊勢崎市社会福祉協議会赤堀支所
・参 加 者　　地域に居住する住民（子どもから高齢者、障害者等）
　　延べ４５０人（前年度：１，１８０人）
・内　　容　　七夕飾りつけ、芋掘り教室、廃品回収　等

（４）ゆうあい昼食会事業

日頃、家に閉じこもりがちなひとり暮らし高齢者を対象に、市内を拠点に活動している楽団による歌謡曲の生演奏を楽しみながら、お互いの親睦を深める昼食会を予定しておりましたが新型コロナウイルス感染予防のため中止といたしました。

（５）福祉体験教室への支援

総合学習における車いす体験を各小学校において実施し、福祉教育を支援しました。

・６月２３日（水）　赤堀東小学校４年生(２クラス)６０人（前年度：中止）
・７月　２日（金）　赤堀南小学校４年生(３クラス)９６人（前年度：中止）

（６）赤堀地区協議体の運営支援及び地域支え合いの体制づくり推進

赤堀地区の第２層協議体に参加し、地域住民をはじめ多様な主体による地域課題の情報共有や連携・協働により、地域支え合いの体制づくりを推進しました。

・あかぼり地域支え合い協議体　毎月第３水曜日　赤堀公民館で開催
（新型コロナウイルス感染予防のため、協議体全体会は休止し、プロジェクト会議を1/13、2/22、3/15 に開催）

２．赤堀地区社会福祉協議会

（１）地区の総合的支援体制づくり

赤堀地区社会福祉協議会の事務局として、区長会、民生委員児童委員協議会、ボランティア等、地域の各種団体との連携を深めるため役員会議を開催し、赤堀地区の総合的支援体制づくりを推進しました。

・第１回役員会議　令和３年　５月１９日（水）（書面審議）
・第２回役員会議　令和３年　８月２０日（金）（書面審議）

（２）事業の推進

・赤堀地区金婚記念式典（令和３年１１月２０日（土）：赤堀公民館）
新型コロナウイルス感染予防のため記念撮影と慶祝状等の贈呈のみ実施
・世代間交流事業　（行政区ごとに会議所等にて実施）
・ゆうあい昼食会事業　（新型コロナウイルス感染予防のため中止）
・赤い羽根共同募金法人募金〔令和３年１１月２日（火)〕への協力

□あずま支所

１．地域福祉活動の推進事業

（１）友愛訪問事業

あずま地区のひとり暮らし高齢者を対象に、月１回友愛訪問を兼ねて自宅に弁当や非常食等をお届けしました。高齢者の安否確認、コミュニケーション活動として実施し、あずま地区民生委員・児童委員とボランティアが１ケ月交代で協力していただきました。

・月平均利用者　　４０人（前年度：　３５人）
・延べ利用人数　　４８２人（前年度：４２０人）

（２）ふれあい事業「ひとり暮らし高齢者ふれあい昼食会」

あずま地区のひとり暮らし高齢者を対象に、あずま地区民生委員・児童委員の協力により年２回、あずまボランティアの会の協力により年２回の計４回実施を予定しておりましたが新型コロナウイルス感染予防のため中止といたしました。

（３）子育てサロン

子育て中の親子が気軽に参加し、情報交換や遊びなどを通して交流を深めることで、育児を楽しみながら仲間づくりや子育ての悩み等を相談・共有できるよう、ふれあいの場を提供する予定でしたが、新型コロナウイルス感染予防のため中止といたしました。

（４）高齢者いきいき講座

高齢者の介護予防及び日常生活上の自立を目的に健康の増進を図りながら生きがい・健康づくりに関する健康体操・健康講座・料理教室などを行い活力ある地域社会づくりをめざすことを目的に開催を予定しておりましたが、新型コロナウイルス感染予防のため中止といたしました。

（５）ボランティア養成講座・情報交換会

新型コロナウイルス感染予防のため中止といたしました。

（６）世代間交流

少子高齢化や核家族化が著しく進行している中、地域で高齢者世代と子ども世代との交流を図ることを目的に実施される世代間交流事業に対する支援を予定しておりましたが、新型コロナウイルス感染予防のため中止といたしました。

（７）福祉体験教室への支援

総合学習における福祉体験学習を各学校において実施し、福祉教育を支援しました。

・１０月２１日（木）あずま北小学校４年生(３クラス)７７人（前年度：中止）

（８）あずま地区協議体の運営支援及び地域支え合い体制づくりの推進

あずま地区第２層協議体に参加し、地域住民をはじめ多様な主体による地域課題の情報共有や連携・協働により、地域支え合いの体制づくりを推進しました。

・あずま地区協議体　毎月第４金曜日　高齢者生きがいセンターで開催
（新型コロナウイルス感染予防のため、運営委員会は 11/16、全体会は 12/21 に開催）

２．あずま地区社会福祉協議会

（１）地区の総合的支援体制づくり

区長会、民生委員・児童委員連絡協議会、ボランティア等、地域の各種団体との連携を深めるため会議を開催し、あずま地区の総合的支援体制づくりを推進しました。

・第１回会議　令和３年　５月２５日（火）（書面審議）
・第２回会議　令和３年　８月２４日（火）（書面にて金婚・ダイアモンド婚式の該当者調査を依頼）

（２）事業の推進

あずま地区社会福祉協議会の各事業の実施を支援しました。

・あずま地区金婚・ダイアモンド婚式（慶祝状・記念品等の贈呈、記念撮影）
（令和３年１１月２５日（木）：高齢者生きがいセンター）
・赤い羽根共同募金法人募金〔令和３年１１月１２日（金）〕への協力

□境支所

１．地域福祉活動の推進事業

（１） 友愛訪問事業

見守りの必要な境地区内に居住する、地域住民との交流の少ない一人暮らし等高齢者世帯に向けて、ボランティアがヤクルト等を手渡しながら安否確認・友愛訪問を行いました。

新型コロナウイルス感染予防対策に努めながら、境ボランティア連絡協議会会員及び個人ボランティアの協力を得て行いました。

・実　施　日　　祝日を除く第２、第４木曜日の月２回
・延べ実施回数　　２２回（前年度：１３回）
・延べ配達数　　７７８個（前年度：５０６個）
・延べボランティア数　３１１人（前年度：１８６人）

（２）筋力トレーニング講習会

市内全域の高齢者が、健康で豊かな老後を送れるよう、介護予防に効果のある筋力トレーニングの普及と地域指導者のレベルアップを図ることを目的として計画を予定しておりましたが、新型コロナウイルス感染予防のため中止といたしました。

（３）障害者サロン

精神障害をもつ人が気軽にかつ自由に集い、楽しみながら情報交換や交流、仲間づくりを行う場を提供することを目的に、ボランティアの協力によりサロン活動をコロナウイルス感染予防対策に配慮しながら可能な範囲で実施しました。

・実 施 日　　毎月第１土曜日　第３金曜日（月２回実施）全７回
・対 象 者　　市内在住の精神障害者
・延参加者　　１５３人（前年度：１７４人）
・協力団体　　社会福祉法人やよい福祉会、障害者福祉ボランティア「そよ風」
　　精神障がい者ピアカウンセラー

（４）高齢者いきいき講座

高齢者が健康で心豊かな生活を営むことができるよう、多様な内容で生きがいづくりや健康づくりを行うことを目的に開催を予定しておりましたが新型コロナウイルス感染予防のため中止といたしました。

（５）子育てサロン

子育て中の親と子が楽しみながら仲間をつくり、互いに支えあう活動の支援を行うことを目的に開催を予定しましたが、新型コロナウイルス感染予防のため中止といたしました。

（６）福祉体験教室への支援

総合学習における福祉体験学習を各学校において実施し、福祉教育を支援しました。

・１２月　７日　境采女小学校　４年生　６３人　車いす体験(前年度：７３人)

・１２月１４日　境剛志小学校　４年生　４９人　車いす体験(前年度：中止)

（７）子育て支援事業　（夏休み宿題自習室）

小学生を対象に、夏休み期間仲間と一緒に学習するための場所を提供することを目的に計画しましたが、新型コロナウイルス感染予防のため中止といたしました。

（８）電話でお話し相手事業

地域の人と交流の少ない高齢者を対象に、傾聴のボランティアが電話による話し相手を行い、孤立感の解消や関係機関等への橋渡しを行いました。

・実 施 日　　第１～第４木曜日

・会　　場　　境地域福祉センター

・対　　象　　市内在住の高齢者

・利用件数　　２３９件（前年度：２９２件）

・協力団体　　傾聴ボランティア「たんぽぽ」

（９）境地区協議体の運営支援及び地域支え合いの体制づくり推進

境地区の第２層協議体に参加し、地域住民をはじめ多様な主体による地域課題の情報共有や連携・協働により、地域支え合いの体制づくりを推進しました。

・境地区協議体　隔月　境地域福祉センターで開催

（新型コロナウイルス感染予防のため、全体会は 12/21、世話人会は 7/20，11/30，1/18，2/8，3/22　開催）

２．境地区社会福祉協議会

（１）地区の総合的支援体制づくり

境地区社会福祉協議会の事務局として、役員会議等を開催する他、各地域団体との連携に努め、境地区における支援体制づくりに務めました。

・第１回　令和３年　　５月１１日（火）（書面審議）

・第２回　令和３年　　７月２７日（火）

・第３回　令和３年　１０月２７日（水）

・第３回　令和４年　　２月２２日（火）

（２）事業の推進

・境地区金婚記念式典（令和３年１１月１９日（金）：境地域福祉センター）

新型コロナウイルス感染予防のため記念撮影と慶祝状等の贈呈のみ実施

・赤い羽根共同募金法人募金〔令和３年１１月２２日（金）～〕への協力

□在宅福祉課

１．介護保険事業の経営

利用者が住み慣れた地域の中で、可能な限り自立した生活を営むことが出来るよう、介護度が重くなることを防止し、現状の介護状態を維持または改善することを目的に、居宅介護支援事業、訪問介護事業、訪問入浴事業、通所介護(デイサービス)事業を実施しました。

また、介護保険事業経営改善検討委員会を設置し、経営改善に係る諸課題を検討し、経営の安定を図りました。

（1）居宅介護支援事業

ケアプランの作成、予防ケアマネジメント、介護認定調査、住宅改修等の支援を行う事業であり、伊勢崎・あずま・磯沼荘の各事業所で実施しました。

要介護・要支援者の心身の状況や置かれている環境、本人や家族の希望を勘案し、居宅サービス、地域密着型サービスあるいはその他の保健医療サービス等を適切に利用できるように、居宅サービス計画を作成し、その計画に基づくサービスの提供が適切に行われるよう、サービス提供事業者と連絡調整を行うなどの支援を行いました。

① 居宅介護支援事業実績　（単位：件）

区分／事業所	ケアプラン		予防マネジメント		介護認定調査		住宅改修	
	R3 年度	R2 年度	R3 年度	R2 年度	R3 年度	R2 年度	R3 年度	R2 年度
伊勢崎	1,610	1,535	385	351	85	55	8	7
あずま	1,424	1,287	599	542	80	36	4	2
磯沼荘	2,452	2,262	562	533	237	123	8	5
計	5,486	5,084	1,546	1,426	402	214	20	14

（介護認定調査受託市区町村：32 市区町村）

（2）訪問介護事業

要介護者や要支援者に対し、介護福祉士などの資格を有する訪問介護員が居宅を訪問し、入浴、排泄、食事等の身体介護サービスや調理、洗濯、買い物等の生活支援サービスを実施しました。

① 利用者の世帯状況（令和 4 年 3 月 31 日現在）　（単位：人）

区分／性別	独居		夫婦 2 人		家族同居		計	
	R3 年度	R2 年度	R3 年度	R2 年度	R3 年度	R2 年度	R3 年度	R2 年度
男	25	32	8	8	7	7	40	47
女	49	43	9	10	18	21	76	74
計	74	75	17	18	25	28	116	121

② 利用者の要介護度（令和 4 年 3 月 31 日現在）　（単位：人）

性別	年度	要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	計
男	R3	8	3	11	11	3	2	1	39
	R2	12	5	7	14	5	0	0	43
女	R3	10	18	26	15	4	3	1	77
	R2	12	18	22	17	4	3	2	78
計	R3	18	21	37	26	7	5	2	116
	R2	24	23	29	31	9	3	2	121

③ 利用者の年齢階層（令和 4 年 3 月 31 日現在）　（単位：人）

区分 / 性別	年度	69 歳以下	70 歳～74 歳	75 歳～79 歳	80 歳～84 歳	85 歳～89 歳	90 歳以上	計
男	R3	8	7	6	6	5	7	39
	R2	11	12	5	3	7	5	43
女	R3	7	7	13	8	24	18	77
	R2	7	8	10	13	19	21	78
計	R3	15	14	19	14	29	25	116
	R2	18	20	15	16	26	26	121

④ 訪問介護事業実績

	延訪問回数(回)		延訪問時間(時間)		延利用者数(人)	
年度	R3	R2	R3	R2	R3	R2
実績	9,994	9,754	10,384.0	9,873.8	923	975

⑤ 介護予防・日常生活支援総合事業訪問型サービス・介護予防訪問介護事業実績

	延訪問回数(回)		延訪問時間(時間)		延利用者数(人)	
年度	R3	R2	R3	R2	R3	R2
実績	3,315	3,497	3287.3	3,461.7	523	538

⑥ 介護予防・日常生活支援総合事業　訪問型サービスＡ（基準緩和訪問型）実績

	延訪問回数(回)		延訪問時間(時間)		延利用者数(人)	
年度	R3	R2	R3	R2	R3	R2
実績	65	126	65	126	20	36

⑦ 福祉有償運送実績

延利用回数(回)		延利用者数(人)	
R3 年度	R2 年度	R3 年度	R2 年度
630	407	164	129

（3）訪問入浴事業

家庭での入浴が困難な要介護・要支援者に対して、特殊な設備を備えた入浴車で訪問し、浴槽を室内に設置して入浴介護サービスを伊勢崎事業所で実施しました。

① 利用者の世帯状況（令和4年3月31日現在）　（単位：人）

区分／性別	独居		夫婦2人		家族同居		計	
	R3年度	R2年度	R3年度	R2年度	R3年度	R2年度	R3年度	R2年度
男	1	1	3	1	0	2	4	4
女	0	0	0	2	14	11	14	13
計	1	1	3	3	14	13	18	17

② 利用者の要介護度（令和4年3月31日現在）　（単位：人）

区分／性別	年度	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計
男	R3	0	0	1	0	1	0	2	4
	R2	0	0	0	0	1	1	2	4
女	R3	0	0	0	0	1	6	7	14
	R2	0	0	0	0	2	5	6	13
計	R3	0	0	1	0	2	6	9	18
	R2	0	0	0	0	3	6	8	17

③ 利用者の年齢階層（令和4年3月31日現在）　（単位：人）

区分／性別	年度	69歳以下	70歳～74歳	75歳～79歳	80歳～84歳	85歳～89歳	90歳以上	計
男	R3	2	1	0	0	0	1	4
	R2	2	1	0	0	1	0	4
女	R3	2	0	1	2	1	8	14
	R2	2	0	1	3	2	5	13
計	R3	4	1	1	2	1	9	18
	R2	4	1	1	3	3	5	17

④ 訪問入浴事業実績

	延訪問回数(回)		延利用者数(人)		入浴台数(台)	
年度	R3	R2	R3	R2	R3	R2
実績	1,093	1,019	229	209	3	3

（４）通所介護（デイサービス）事業

通所介護事業は、あずまデイサービスセンター、磯沼荘デイサービスセンターの２事業所で実施しています。

サービス内容は、通所介護計画に沿って、入浴介助（一般入浴または機械浴槽を使用しての入浴)、送迎サービス、食事サービス（栄養並びに利用者の身体の状況及び嗜好を考慮した食事を提供)、機能訓練（心身等の状況に応じて日常生活を送るのに必要な機能の回復又はその減退を防止するための訓練を実施)、その他必要な介護等を実施しました。

①あずまデイサービスセンター

季節に応じてイベントを企画し、コロナ禍の中でも楽しめるよう事業を実施し、家族との連携を密にすることで安心して利用いただけるほか、家族の介護負担の軽減にも大きな成果を挙げています。また、利用者の生活リズムや健康状態を常に把握し、栄養士が作成する献立による食事、入浴、機能訓練、口腔ケアなど、利用者のニーズにあったサービスを心掛けました。

事　業　名	事　業　内　容
お花見事業	桜の見学…普段外出の難しい利用者にセンター敷地内外の桜や波志江沼や中島飛行場の跡地の桜を眺めて季節感を味わう体験をしてもらうため、開花状況を考慮しながら企画実施しました。 小菊の見学…赤堀の小菊の里へ行き、車窓からですが、色とりどりの菊の花を見学し、気分転換ができました。
お誕生会	デイルームにおいて、誕生日を迎えた人を毎月お祝いしました。誕生日の方には職員手作りの写真付きカードと折り紙で作った季節の花とお箸をプレゼントし、歌をうたい、ケーキと紅茶で楽しいひと時を過ごしました。
お茶会	１月４日（火)、和菓子屋の上生菓子を用意し、職員が着物を着て抹茶をたて、新年のお祝いを兼ねてお茶会を開催しました。 また、毎月１０日に和菓子を用意し、お茶会を実施しました。
夏祭り	８月５日（木)・６日（金)、レクリエーションの時間にて、射的大会を中心に実施しました。職員手作りの、たこ焼き・かき氷をおやつで提供し、夏のイベントで盛り上がりました。
敬老会	９月２０日（月)・２１日（火）に敬老の日のお祝いとして、紅白まんじゅうと職員手作りの亀のキーホルダーをプレゼントしました。職員の出し物でフラダンスを披露し、おやつにはスイーツバイキングとして、ケーキやお菓子を提供し、大変喜ばれました。
カフェ	１０月１１日（月)・１２日（火）に職員手作りのクレープと共に、好きなドリンクをメニュー表により選んでいただき、提供しました。喫茶店の雰囲気で、いつもと違うおやつが味わえました。

ミニ運動会	秋のスポーツシーズン１０月１８日（月）～２１日（木）にレクリエーションの時間を使い、パン食い競争、玉入れ、新聞ホッケーの競技を行いました。また、パン食い競争では、日替わりで伊勢崎市内のパン屋のパンを用意し、おやつとして提供しました。
クリスマス会	１２月２４日（金）２５日（土） クリスマスプレゼントとして、感染症予防のためのマスクとお茶をプレゼントしました。また、おやつとして、イチゴとホイップクリーム、チョコペンでサンタを作り、ロールケーキの上に飾ったものを提供しクリスマスの気分を味わっていただきました。
ひな祭り	３月３日（木）、さくら餅、ひなあられと甘酒を提供し、季節感を味わってもらいました。
イベント食	年度末のイベントとして、３月２５日（金）・２６日（土）、利用者からリクエストのあった焼きまんじゅうを焼いて利用者に提供しました。普段、外食できない利用者に大変喜ばれ好評でした。
個別機能訓練	毎日、利用者の機能の維持・向上を目的に、機能訓練指導員（看護師）が中心となり、各介護員と連携をとりつつ、入浴前後、昼食前後の時間に個別に下記のような訓練を行いました。 ・歩行訓練、筋力強化訓練、階段昇降訓練、滑車訓練、立ち上がり訓練、横歩き訓練、エアロバイク、握力強化訓練 ・塗り絵、計算問題、パズル、折り紙、ゴミ箱折り、集団レク等 ・軽体操、健康リズム体操
口腔ケア	口腔機能向上サービスを実施しました。利用者の口腔内の状態を把握するため、月２回歯科衛生士の診察を実施しました。治療が必要とされる利用者へ歯科衛生士に手紙を書いてもらい、受診して頂くよう促しました。また、昼食前に「お口の体操」、昼食後は歯磨き、口腔清拭、義歯洗浄、舌磨きを行い、口腔機能の向上を図りました。
消防訓練	令和３年１０月１４日（木）及び令和４年３月１１日（金）に、みやまセンターと合同で消防訓練を実施しました。

②磯沼荘デイサービスセンター

国・県・市による新型コロナウイルス感染症の基本方針等に基づき、感染拡大防止対策を講じ関係機関と十分連携を図り、事業を実施いたしました。

要支援者の受け入れを行うとともに、医療依存の高い利用者や、認知症重度者を受け入れ共存しながら本人らしく生活が送ることができるように、看護、介護のスタッフが連携し、利用者の生活リズムや健康状態を把握しながら、常に利用者の声に耳を傾ける事が出来る体制をつくりました。入浴、食事、機能訓練、口腔ケア等、利用者にあわせたサービスを提供することで、利用者が自信をもち、日常生活において通常欠かすことの出来ない基本動作（食事、排泄、入浴など）や、ＡＤＬの維持・向上につなげることが出来ました。また、家族との連携を図ることで、安心して利用していただくとともに、家族の介護負担も、大きく軽減する事が出来ました。

事　業　名	事　業　内　容
お花見事業	桜の見学(磯沼）…隣接する磯沼の桜のお花見会を実施しました。青天のには、満開の桜を見ながら、春の歌を歌い楽しい時間を過ごしました。 小菊の里の見学…久しぶりの開催で皆様とても喜ばれ、写真撮影をしました。
スイカ割り	８月１９日（木）、２０日（金） 夏の風物詩であるスイカ割りを行いました。目隠しをしてスイカのビーチボールを狙う利用者に、他の利用者から「前だよ、右だよ、左だよ」と声援を送っていました。 おやつにスイカを召し上がりました。
敬老会	９月２０日（月）～９月２１日（火） 敬老の日のお祝いとして、手作りのポケットティッシュケースと磯沼荘の近隣に咲くお花の写真のしおりをプレゼントさせていただきました。 職員の出し物で、だんべえ踊りとフラダンスを披露しました。 自分の歳や敬老の日を思い出すきっかけとなり、プレゼントを嬉しそうに受け取ってくださいました。
運動会	１０月１８日（月）～１０月２０日（水）磯沼荘デイルーム 秋の大運動会を行いました。 競技種目は、綱渡し、パン喰い競争、玉入れ、職員対抗の風船割りリレー。皆様、日頃の機能訓練の成果を発揮し、一生懸命に行いました。 おやつはパン食い競争のパンを召し上がりました。

磯沼荘祭り	１２月６日（月）から８日（水）磯沼荘デイルーム ・６日…職員出し物（花咲か爺さん、花笠音頭、ソーラン節） 大抽選会、射的、くわまる君撮影会 ・７日…職員出し物（花咲か爺さん、花笠音頭、ソーラン節） 大抽選会、射的、くわまる君撮影会 ・８日…職員出し物　（花笠音頭、ソーラン節、ものまね） 大抽選会、射的、くわまる君撮影会 ３日間、お祭り週間として開催。利用者と職員が一緒になって、祭りの準備を行いました。デイサービス内が笑い声で溢れ「とても良かった」「楽しかったよ」など利用者から声を掛けていただきました。職員及び利用者同士のコミュニケーションを図ることが出来ました。 記念品…ハンドタオルテディベア、ヨーヨー風船、くわまる君グッズ、BOX ティッシュ、ペットボトルのお茶
お誕生日会	毎月、該当する利用者に、職員の手作りのプレゼントを渡し、皆で、ケーキを食べて、お祝いの歌を歌いました。 誕生日会を行うことで、改めて自分の誕生日を思い出す姿が見られ、現実感(日付、曜日）の改善につながりました。
クリスマス会	１２月２４日（金）、２５日（土） レクリエーションの時間にサツマイモの蔓でクリスマスリースを作りました。クリスマスプレゼントとして、デイの皆様を撮影した写真を写真楯に入れプレゼントしました。また、クリスマスソングを全員で歌い、ケーキをクリスマスの気分を味わっていただきました。笑いも飛び交い、楽しい時間を一緒に過ごし、ストレス解消につながりました。
磯沼荘紅白歌合戦	１２月２７日（月）、２８日（火）に紅白歌合戦を行いました。新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として、マスクを着用したままでしたが、皆様自慢の歌声を披露してくださいました。
赤堀中学校吹奏楽部演奏会	１月１０日（月）、１５日（土）赤堀中学校吹奏楽部 DVD 鑑賞会 毎年、演奏会を開催し、力強い演奏に触れ元気と希望を与えてもらい、また、他の事業所との協同事業として、地域との関わりを深めてまいりました。新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として、赤堀中学校のご配慮により、DVD を制作していただき、鑑賞会を実施いたしました。
節分の豆まき	２月３日（木） 皆様に新聞紙を丸め、豆を作っていただきました。その豆を職員扮する鬼目掛け投げ、鬼を退治しました。催しごとを行う事で、笑顔が見られ季節感を感じることが出来ました。皆様、笑顔で参加され一年の無病息災を願いました。昼食は手巻き寿司を召し上がりました。

ひな祭り	３月２日（水） ひな祭りの特別メニューでちらし寿司を召し上がっていただきました。また、おひな様のぬり絵をしていただき、皆様きれいに塗られておりました。 美味しいご飯を頂きながら、全員で祝いました。昔を思い出し、楽しかった記憶が蘇ったようで皆さんの活き活きとした表情が見られました。
個別機能訓練	AM 9：30～11：30　PM 2：30～2：50、PM 3：30～PM 3: 45 の時間帯で、利用者の身体機能の維持向上を目的として、実施しました。 ＜訓練内容＞ 　集団体操、リズム体操、ラジオ体操、運動器具を使用した運動、起立訓練、歩行訓練、上肢、下肢、筋力維持向上トレーニング他 月４回、作業療法士が来所し、１日２名程度利用者様の状態確認、運動指導を行っていただきました。 個々に合ったペースで機能訓練を実施することが出来ました。運動をすることにより、ADL 動作の維持、向上に努められ、自立動作が継続できる様に頑張っている姿が見受けられました。
口腔機能訓練	毎日の支援、指導内容 ・食前の健康体操（嚥下体操、舌のトレーニング、唾液の分泌を良くするトレーニング） ・食後の口腔ケア（ブラッシング指導、磨き残しの確認、義歯の清掃、口腔内の異常の確認） ・月２回の歯科衛生士による、口の中の健康チェック、義歯洗浄、一生自分の歯で美味しく、楽しく安全な食生活を営むことが出来るとともに、口腔内の異常の早期発見、確認が行えました。在宅では、なかなか出来ない口腔清掃、感染予防、清潔保持、口腔ケアの習慣付けが徐々に出来つつあります。
避難訓練 （火災訓練）	令和３年９月２７日（月） 　磯沼荘デイサービスセンター　職員１６名　利用者数１７名、あかねの館　職員１名　利用者数６名、磯沼荘厨房ローレンジ付近からの出火を想定し、火災避難訓練を実施しました。 令和４年３月１６日（水） 　磯沼荘厨房ローレンジ付近からの出火を想定し、自主的に火災避難訓練を実施しました。 　磯沼荘デイサービスセンター　職員１２名　利用者数２０名、あかねの館　職員２名　利用者数６名

③　利用者の世帯状況（令和 4 年 3 月 31 日現在）　（単位：人）

区分／事業所	性別	独　居		夫婦 2 人		家族同居		計	
		R3 年度	R2 年度	R3 年度	R2 年度	R3 年度	R2 年度	R3 年度	R2 年度
あずま	男	7	7	4	4	4	8	15	19
	女	2	1	5	2	18	20	25	23
磯沼荘	男	4	1	7	8	5	9	16	18
	女	12	7	4	3	21	28	37	38
計	男	11	8	11	12	9	17	31	37
	女	14	7	9	5	39	48	62	60
総　計		25	15	20	17	48	65	93	97

④　利用者の要介護度（令和 4 年 3 月 31 日現在）　（単位：人）

区分／事業所	性別	年度	要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	計
あずま	男	R3	2	1	7	3	0	1	1	15
		R2	1	1	6	7	2	2	0	19
	女	R3	2	3	5	7	4	4	0	25
		R2	1	4	3	8	4	2	1	23
磯沼荘	男	R3	1	1	7	2	3	1	1	16
		R2	1	0	7	3	4	2	1	18
	女	R3	4	5	15	9	2	2	0	37
		R2	4	5	13	12	3	1	0	38
計	男	R3	3	2	14	5	3	2	2	31
		R2	2	1	13	10	6	4	1	37
	女	R3	6	8	20	16	6	6	0	62
		R2	5	9	16	20	7	3	1	61
総　計		R3	9	10	34	21	9	8	2	93
		R2	7	10	29	30	13	7	2	98

⑤　利用者の年齢階層（令和 4 年 3 月 31 日現在）　（単位：人）

区分／事業所	性別	69 歳以下		70 歳～74 歳		75 歳～79 歳		80 歳～84 歳		85 歳～89 歳		90 歳以上		計	
		R3	R2	R3	R2	R3	R2	R3	R2	R3	R2	R3	R2	R3	R2
あずま	男	5	4	3	5	1	3	4	3	1	2	1	2	15	19
	女	0	1	3	1	3	4	5	5	6	5	8	7	25	23
磯沼荘	男	1	2	0	0	2	4	6	6	2	3	5	3	16	18
	女	1	0	3	3	1	1	5	5	15	16	12	13	37	38
計	男	6	6	3	5	3	7	10	9	3	5	6	5	31	37
	女	1	1	6	4	4	5	10	10	21	21	20	20	62	61
総　計		7	7	9	9	7	12	20	19	24	26	26	25	93	98

⑥　通所介護事業実績

区分／事業所	年度	年間営業日	実利用人　数	延利用人　数	1日平均利用		
					送迎	機械入浴	一般入浴
あずま	R3	308 日	428 人	5,659 人	18.3 人	7.1 人	9.3 人
	R2	305 日	408 人	4,691 人	15.2 人	4.0 人	10.1 人
磯沼荘	R3	308 日	447 人	5,172 人	16.9 人	2.7 人	11.4 人
	R2	288 日	543 人	5,506 人	18.3 人	3.3 人	13.0 人
計	R3	616 日	875 人	10,831 人	35.2 人	9.8 人	20.7 人
	R2	593 日	951 人	10,197 人	33.5 人	7.3 人	23.1 人

⑦　介護予防・日常生活支援総合事業　通所型サービス（介護予防通所介護）実績

区分／事業所	年度	事業実施日　数	実利用人　数	延利用人　数	1日平均利用		
					送迎	機械入浴	一般入浴
あずま	R3	221 日	72 人	485 人	2.2 人	0.0 人	1.9 人
	R2	172 日	67 人	458 人	2.6 人	0.0 人	2.1 人
磯沼荘	R3	308 日	113 人	807 人	2.6 人	0.0 人	2.2 人
	R2	262 日	107 人	777 人	2.9 人	0.0 人	2.6 人
計	R3	529 日	185 人	1,292 人	4.8 人	0.0 人	4.1 人
	R2	434 日	174 人	1,235 人	5.5 人	0.0 人	4.7 人

2．障害者福祉サービス事業の実施

（1）障害者総合支援事業

障害者総合支援法に基づき、支給決定（または認定）を受けた障害者（児）に対し、居宅において、入浴、排泄、食事等の身体介護や、調理、洗濯、掃除等の家事支援並びに生活等に関する相談助言、その他の生活全般にわたる援助を行うものであり、伊勢崎事業所で実施しました。

① 利用者の障害の区分（令和 4 年 3 月 31 日現在）　（単位：人）

性別	区分／年度	身　体	重　度	知　的	精　神	児　童	計
男	R3 年度	7	0	1	11	0	19
	R2 年度	9	1	1	14	0	25
女	R3 年度	7	0	4	21	0	32
	R2 年度	4	0	4	21	0	29
計	R3 年度	14	0	5	32	0	51
	R2 年度	13	1	5	35	0	54

② 利用者の年齢階層(障害者)（令和 4 年 3 月 31 日現在）　　（単位：人）

性別	区分／年度	18 歳～29 歳	30 歳～49 歳	50 歳～64 歳	65 歳以上	計
男	R3 年度	1	1	13	4	19
	R2 年度	2	4	14	5	25
女	R3 年度	3	17	10	2	32
	R2 年度	3	11	12	3	29
計	R3 年度	4	18	23	6	51
	R2 年度	5	15	26	8	54

③ 障害福祉サービス提供実績

延訪問回数		延訪問時間		延利用者数	
R3 年度	R2 年度	R3 年度	R2 年度	R3 年度	R2 年度
5,358 回	5,756 回	6475.0 時間	7,086.9 時間	633 人	627 人

（2）地域生活支援事業

① 移動支援サービス

屋外での移動が困難な障害者等について、外出のための支援を行うことにより、地域における自立した生活及び社会参加を促すことを目的とする事業で、社会生活上必要不可欠な外出及び余暇活動等の社会参加のための外出時の移動を支援しました。

○移動支援サービス提供実績

延訪問回数		延訪問時間		延利用者数	
R3 度	R2 年度	R3 年度	R2 年度	R3 年度	R2 年度
426 回	302 回	381.5 時間	352.5 時間	118 人	83 人

② 訪問入浴サービス

居宅での入浴が困難な障害者等に、身体の清潔の保持のため、介護保険による訪問入浴と同様のサービスを提供しました。

○訪問入浴サービス提供実績

延訪問回数		延利用者数	
R3 年度	R2 年度	R3 年度	R2 年度
402 回	398 回	49 人	48 人

３．その他

（１）介護予防事業

開催を予定していた介護予防教室は新型コロナウイルス感染症流行のため、参加者、職員の感染予防、安全面を考慮し中止にしました。

（２）研修支援事業（資格取得のための実習生受け入れ）

介護支援専門員実務研修受講試験の合格者の実習については、新型コロナウイルス感染症対策のため中止になりました。介護職等の資格を取得するために必要な実習の受け入れは、感染症予防を徹底して行い、介護事業に必要なマンパワーを育成することに寄与しました。また、教員免許取得希望者に対する社会福祉施設等における介護等体験を受け入れました。

① 介護支援専門員実務研修実習

事業所	依　頼　者	年度	実人数	実日数	延時間
伊勢崎	群馬県社会福祉協議会	R3	0 人	0 日	0 時間
		R2	0 人	0 日	0 時間
あずま	群馬県社会福祉協議会	R3	0 人	0 日	0 時間
		R2	0 人	0 日	0 時間
磯沼荘	群馬県社会福祉協議会	R3	0 人	0 日	0 時間
		R2	0 人	0 日	0 時間
合　計		R3	0 人	0 日	0 時間
		R2	0 人	0 日	0 時間

② 介護実習同行訪問

事業所	依　頼　者	年度	実人数	実日数	延時間
伊勢崎	前橋医療福祉専門学校	R3	0 人	0 日	0 時間
		R2	0 人	0 日	0 時間
	太田医療技術専門学校	R3	1 人	1 日	8 時間
		R2	1 人	1 日	8 時間
合　計		R3	1 人	1 日	8 時間
		R2	1 人	1 日	8 時間

③ 教員免許取得希望者に対する介護等体験（通所介護）

事業所	依　頼　者	年度	実人数	実日数	延時間
あずま	群馬県社会福祉協議会	R3	0 人	0 日	0 時間
		R2	0 人	0 日	0 時間
磯沼荘	群馬県社会福祉協議会	R3	4 人	20 日	120 時間
		R2	3 人	15 日	90 時間
合　計		R3	4 人	20 日	120 時間
		R2	3 人	15 日	90 時間

（3）介護予防フェスタ

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止になりました。

（4）市民ボランティアフェスティバル

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止になりました。

□施設管理課

１．指定管理施設の管理運営

（１） ふくしプラザ

高齢者及び障害者の健康の増進及び生涯学習の振興を図るとともに、社会参加を促進するため各種事業を実施しました。

Ⅰ　年間入館者数　（単位：人）

使用場所	浴室・交流室、トレーニングルーム		会議室、セミナールーム	多目的ホール	ワークショップその他	合　計
	無料（うち障害者）	有料				
令和３年度	3,034 (33)	1	1,600	97	3,296	8,028
令和２年度	4,284 (96)	2	1,652	83	4,021	10,042

・年間開館日数　　２０１日(前年度１７０日)

・開館時間　　午前９時～午後１０時

・新型コロナウイルス感染症予防による施設の対応

４月１日～ ４月６日　開館（浴室、カラオケ、貸館休止）
４月７日～４月 20 日　開館（カラオケ休止）
４月 21 日～５月５日　開館（浴室、カラオケ、貸館休止）
５月６日～６月 22 日　休館
６月 23 日～７月６日　開館（浴室、カラオケ、貸館休止）
７月７日～８月３日　開館（カラオケ休止）
８月４日～８月６日　開館（浴室、カラオケ、貸館休止）
８月７日～10 月７日　休館
10 月８日～10 月 26 日　開館（浴室、カラオケ、貸館休止）
10 月 27 日～令和４年１月 17 日　開館（カラオケ休止）
１月 18 日～３月８日　開館（浴室、カラオケ休止）
３月９日～３月 31 日　開館（カラオケ休止）

Ⅱ　事業実施状況

利用者の増加を図るために実施した事業内容は次のとおりです。

事　業　名	内　容
第 31 回 健やか学級	午前 9 時 30 分～11 時 30 分 7 月 5 日～3 月 14 日までの実施 実施回数 10 回、参加者延べ 181 名 文化財探訪・暮らしの中の法律等各教室講座や運動の実施、生きがい、健康、仲間づくりの連続講座を実施しましたが、新型コロナウイルス感染予防のため 10 回で終了しました。
レクリエーション 軽スポーツ教室	第 1～第 4 木曜日 午後 1 時 30 分～3 時 30 分 新型コロナウイルス感染予防のため参加者の安全を最優先し、実施することができませんでした。
高齢者悩みごと相談	毎週木曜日 午前 10 時～午後 3 時（正午～午後 1 時の休憩時間は除く） 4 月 1 日～3 月 31 日までの実施 相談日数 33 日、相談件数 24 件 専門相談員 3 名により、高齢者悩みごと相談を新型コロナウイルス感染予防のため、電話相談のみ実施しました。
ふれあいサークル	毎週金曜日（第５週休み） 午後 1 時 30 分～3 時 30 分 新型コロナウイルス感染予防のため参加者の安全を最優先し、実施することができませんでした。
健康相談	毎月第 2・4 木曜日 午後 1 時 30 分～2 時 30 分 新型コロナウイルス感染予防のため、講師と相談者の安全を最優先し、実施することができませんでした。
生き生きセミナー	毎週水曜日　午前 10 時～正午 新型コロナウイルス感染予防のため、講師と参加者の安全を最優先し、実施することができませんでした。
趣味の時間 「やまぶき」	毎月第 1～4 水曜日 午後 1 時～3 時 新型コロナウイルス感染予防のため、講師と参加者の安全を最優先し、実施することができませんでした。
リハビリ事業 （訓練室開放）	毎週月曜日・水曜日・金曜日 午後 1 時～4 時 新型コロナウイルス感染予防のため、講師と参加者の安全を最優先し、実施することができませんでした。

第29回 ふくしプラザ フェスティバル	9月4日(土)・9日(木)～13日(月) 新型コロナウイルス感染予防のため、開催中止となりました。
第24回 はーとふる フェスティバル	12月4日（土)・5日（日） 新型コロナウイルス感染予防のため、開催中止となりました。
第18回 ふくしプラザ 芸能発表会	3月6日（日） 新型コロナウイルス感染予防のため開催中止となりました。
高齢者健康講座 （社交ダンス）	前期講座5月10日～7月26日 午後1時30分～3時30分 後期講座10月11日～2月21日 午後1時30分～3時30分 新型コロナウイルス感染予防のため、講師と参加者の安全を最優先し、実施できませんでした。

○実習生の受け入れ

伊勢崎敬愛看護学院

新型コロナウイルス感染予防のため、受け入れを中止しました。

（2）ふれあいセンター

高齢者の心身の健康の保持を図るとともに、市民の憩いの場を提供し、世代間の交流を促進するため、指定管理者制度によるふれあいセンターの管理・運営を行いました。

I　年間入館者数　（単位：人）

入館者別	本市住民				本市住民以外			計
	無料	大人	小人	計	大人	小人	計	
令和３年度	7,611	69	2	7,682	4	0	4	7,686
令和２年度	10,242	76	2	10,320	7	0	7	10,327

・年間開所日数　２０８日（前年度１６９日）

・開所時間　　午前９時～午後４時

・新型コロナウイルス感染症予防による施設の対応

4月1日～ 4月6日　開館（浴室、カラオケ、貸館休止）
4月7日～4月20日　開館（カラオケ休止）
4月21日～5月5日　開館（浴室、カラオケ、貸館休止）
5月6日～6月22日　休館
6月23日～7月6日　開館（浴室、カラオケ、貸館休止）
7月7日～8月3日　開館（カラオケ休止）
8月4日～8月6日　開館（浴室、カラオケ、貸館休止）
8月7日～10月7日　休館
10月8日～10月26日　開館（浴室、カラオケ、貸館休止）

10 月 27 日～令和 4 年 1 月 17 日　開館（カラオケ休止）
1 月 18 日～3 月 8 日　　開館（浴室、カラオケ休止）
3 月 9 日～3 月 31 日　　開館（カラオケ休止）

Ⅱ　行事実施状況

利用者の増加を図るために実施した行事内容は次のとおりです。

事　業　名	内　容
ふれあいミニ図書コーナー	本館談話コーナーに書棚を設置し、利用者が気軽に読書を楽しめるようにしました。

（3）老人いこいの家

地域の高齢者を対象に、入浴やレクリエーション等の場の提供と、教養の向上を図るための事業を実施するとともに、地域の関係団体の活動支援を通して高齢者の心身の健康の保持・増進を図りました。

Ⅰ　年間入館者数

	入 館 者 数（人）	備　考
令和３年度	２，８７１	
令和２年度	４，６０４	

・年間開所日数　１９１日（前年度１７１日）
・開所時間　　午前９時～午後４時
・新型コロナウイルス感染症予防による施設の対応
4 月 1 日～ 4 月 6 日　　開館（浴室、カラオケ、貸館休止）
4 月 7 日～4 月 20 日　　開館（カラオケ休止）
4 月 21 日～5 月 5 日　　開館（浴室、カラオケ、貸館休止）
5 月 6 日～6 月 22 日　　休館
6 月 23 日～7 月 6 日　　開館（浴室、カラオケ、貸館休止）
7 月 7 日～8 月 3 日　　開館（カラオケ休止）
8 月 4 日～8 月 6 日　　開館（浴室、カラオケ、貸館休止）
8 月 7 日～10 月 7 日　　休館
10 月 8 日～10 月 26 日　開館（浴室、カラオケ、貸館休止）
10 月 27 日～令和 4 年 1 月 17 日　開館（カラオケ休止）
1 月 18 日～3 月 8 日　　開館（浴室、カラオケ休止）
3 月 9 日～3 月 31 日　　開館（カラオケ休止）

Ⅱ　利用状況

・地域の様々な支援団体が活動を行いました。

団 体 名	事 業 名
赤堀福祉ボランティアの会	○ゆうあい昼食会　　コロナウイルスのため中止 ○ボランティアの集い　コロナウイルスのため中止

Ⅲ　消防総合訓練

コロナウイルスのため中止（消防用設備等点検のみ）

（4）みやまセンター

みやまセンターは、地域に密着した老人福祉施設としてデイサービス事業も提供する複合施設です。

当センターでは、男女浴室をはじめ大集会室・教養娯楽室・相談室を有し、カラオケ設備も整っており無料の湯茶を設置して、仲間とのふれあいやレクリエーション等により、明るく健康な日々を過ごしていただく「生きがいづくり」の施設です。

Ⅰ　年間入館者数　（単位：人）

入館者別	本市住民				本市住民以外			合計
	無料	大人	小人	計	大人	小人	計	
令和３年度	4,659	34	0	4,693	1	0	1	4,694
令和２年度	7,111	219	0	7,330	0	0	0	7,330

・年間開所日数　　２０１日（前年度１６８日）

・開所時間　　午前９時～午後４時

・新型コロナウイルス感染症予防による施設の対応

4月1日～ 4月6日　開館（浴室、カラオケ、貸館休止）
4月7日～4月20日　開館（カラオケ休止）
4月21日～5月5日　開館（浴室、カラオケ、貸館休止）
5月6日～6月22日　休館
6月23日～7月6日　開館（浴室、カラオケ、貸館休止）
7月7日～8月3日　開館（カラオケ休止）
8月4日～8月6日　開館（浴室、カラオケ、貸館休止）
8月7日～10月7日　休館
10月8日～10月26日　開館（浴室、カラオケ、貸館休止）
10月 27日～令和4年1月17日　開館（カラオケ休止）
1月18日～3月8日　開館（浴室、カラオケ休止）
3月9日～3月31日　開館（カラオケ休止）

Ⅱ　行事実施状況

利用者の増加を図るために実施した行事内容は次のとおりです。

行　事　名	内　容
入館者感謝祭	10月16日（土） 新型コロナウイルス感染症予防のため開催中止となりました。
カラオケ 発表会	11月20日（土） 新型コロナウイルス感染症予防のため開催中止となりました。

消防訓練	・1回目　10月14日（木） ・2回目　 3月11日（金） 入館者・デイサービス利用者・職員による総合訓練を実施しました。
初湯祭り	1月5日（水） 新型コロナウイルス感染症予防のため開催中止となりました。

（5）高齢者生きがいセンター

高齢者生きがいセンターは、各福祉団体等の活動の拠点となっています。

高齢化社会を迎えた現在、介護予防として高齢者団体・民生委員・ボランティア等各種団体と連携し地域ネットワーク作りを通して多くの事業を行っています。

特に介護予防のための高齢者向けクラブ活動の推進や子育てサロンで未来を担う子供たちの健全育成の場として、最大限に活用している施設です。

Ⅰ　年間利用者数

	利用回数	利用者数
令和３年度	62	822
令和２年度	100	1,414

・年間開所日数　　２０１日（前年度２２２日）

・開所時間　　午前９時～午後９時

・新型コロナウイルス感染症予防による施設の対応

5月6日～6月22日　休館

8月7日～10月7日　休館

Ⅱ　行事実施状況

生きがいセンターの施設を社会福祉協議会の自主事業や他団体の活動に利用しました。

・高齢者いきいき講座事業
・ボランティア活動事業（養成講座、ボランティアの会、傾聴ボランティアほか）
・子育てサロン事業
・心配ごと相談事業
・地区社会福祉協議会事業
・民生委員活動に関する事業
・老人クラブ連合会事業
・ふれあい昼食会（ひとり暮らし老人）
・その他　各福祉団体の総会、役員会、会議など

○消防訓練：10月14日（木）・3月11日（金）消防訓練実施計画により消防訓練を実施。

（６）境地域福祉センター

地域の福祉活動の拠点として、会議室等の貸出管理をはじめ、多くの関係団体との連携や住民の協力を得て、新型コロナウイルス感染拡大の影響の中、休館期間もあったが、様々な事業を展開し、高齢者及び障害者に対する各種サービスの提供や各種福祉団体の育成及び各種福祉情報の提供等を総合的に行い、福祉課題への対応、市民の福祉の増進及び福祉意識の高揚を図りました。

Ⅰ　年間入館者数　（単位：人）

入館者別	利用団体数	利用者数	夜間 開所日数	夜間 利用団体数	夜間 利用者数
令和３年度	293	4,097	0	0	0
令和２年度	280	4,852	1	1	20

・年間開所日数　　２２０日（前年度２４１日）
・開所時間　　午前９時～午後９時
・新型コロナウイルス感染症予防による施設の対応
　5 月 6 日～6 月 22 日　休館
　8 月 7 日～10 月 7 日　休館

Ⅱ　事業実施状況

事　業　名	内　容
トレーニングルームの開放と大型レクリエーション用具の貸出	通年 設置されたトレーニング器具の利用促進と使用方法の説明・指導。大型レクリエーション用具の貸出管理 （新型コロナウイルス対策の影響により利用結果は低調）

境地域福祉センターの施設を社会福祉協議会の自主事業や他団体の活動に利用しました。
・ボランティア活動事業（ボランティアの会、傾聴ボランティアほか）
・心配ごと相談事業
・地区社会福祉協議会事業
・民生委員活動に関する事業
・老人クラブ連合会事業
・その他　各福祉団体の総会、役員会、会議など

以下の事業については、新型コロナウイルス感染予防のため中止といたしました。
・高齢者いきいき講座事業
・子育てサロン事業

○消防訓練：10 月 18 日（月）・2 月 8 日（火）消防訓練実施計画により消防訓練を実施。

（7）境社会福祉センター

当館は、住民の福祉増進と文化の向上目的とし、主に高齢者を対象としたカラオケ設備を整えた共同入浴施設です。

年度事業では、菖蒲湯、柚子湯、ハーブ湯、カラオケ発表会、作品展示会を企画するとともに、年間を通じ玄関先を花で飾るなど季節感を取り入れ、利用者が楽しく気持ちよく利用できるよう心がけました。

Ⅰ　年間入館者数　（単位：人）

入館者別	本市住民				本市住民以外			計
	無料	大人	小人	計	大人	小人	計	
令和３年度	5,065	35	0	5,100	1	0	1	5,101
令和２年度	7,373	58	0	7,431	0	0	0	7,431

・年間開所日数　２０１日（前年度１６８日）

・開所時間　　午前９時～午後４時

・新型コロナウイルス感染症予防による施設の対応

4月1日～ 4月6日　開館（浴室、カラオケ、貸館休止）
4月7日～4月20日　開館（カラオケ休止）
4月21日～5月5日　開館（浴室、カラオケ、貸館休止）
5月6日～6月22日　休館
6月23日～7月6日　開館（浴室、カラオケ、貸館休止）
7月7日～8月3日　開館（カラオケ休止）
8月4日～8月6日　開館（浴室、カラオケ、貸館休止）
8月7日～10月7日　休館
10月8日～10月26日　開館（浴室、カラオケ、貸館休止）
10月 27日～令和4年1月17日　開館（カラオケ休止）
1月18日～3月8日　開館（浴室、カラオケ休止）
3月9日～3月31日　開館（カラオケ休止）

Ⅱ　行事実施状況

利用者の増加を図るために実施した行事内容は次のとおりです。

行　事　名	内　容
菖蒲湯 ハーブ湯 柚子湯	菖蒲湯：５月２６日 ハーブ湯：６月２６日 柚子湯：１２月２２日 （コロナ感染症対策にて中止）
カラオケ発表会	カラオケ発表大会 ８月　９日　参加者　０人 ３月２６日　参加者　０人 （コロナ感染症対策にて中止）

利用者の作品展示会	センター利用者が作成した作品を、廊下の壁面を利用、あるいはテーブルを配置して展示しました。 書道展　　通年 写真展　　通年 手芸作品展　通年 折り紙展　　通年 (コロナ感染症対策にて中止)
七夕飾り	飾り付けに工夫を凝らすとともに利用者が願いを記した短冊を結わい付け、玄関に飾りました。 ７月３日～７月８日 (コロナ感染症対策にて中止)
クリスマス飾り	館内にクリスマスツリー等設置しました。 １２月１日～２５日
正月飾り	館内に正月らしい飾り付けを設置しました。 １月５日～１５日
玄関を花で飾る	四季折々の花を玄関先に飾りました。

（8）児童センター

児童に健全な遊びの場を提供することにより、児童の健康を増進し、情操を豊かにするため、児童センターの管理運営を行いました。

Ⅰ　年間利用者数

単位：人

利用者別 / 年度	幼児	小　学　生		中学生	高校生	一般	合　計
		1～3 年	4～6 年				
令和３年度	5,617	836	462	103	40	6,845	13,903
令和２年度	2,685	203	77	27	8	2,943	5,943

・年間開所日数　　２０１日（前年度１９７日）

・開所時間　　午前９時３０分～午後６時

・新型コロナウイルス感染症予防による施設の対応

５月５日～６月２０日　使用中止

８月５日～１０月７日　使用中止

Ⅱ　行事実施状況

利用者の増加を図るため実施した行事内容は次のとおりです。

行　事　名	内　　容
母の日プレゼント作り	中止 母の日のプレゼントを作る予定でした。
父の日プレゼント作り	中止 父の日のプレゼントを作る予定でした。
マスクケース作り	中止 マスクケースを作る予定でした。
ジェルアロマ作り	中止 ジェルアロマを作る予定でした。
敬老の日プレゼント作り	中止 似顔絵のタペストリーを作る予定でした。
おきあがりこぼし	１１月２１日（日）　７人 おきあがりこぼしを作りました。
だるま落とし	１２月４日（土）　６人 だるまおとしを牛乳パックで作りました。
おたよりケース作り	中止 おたよりケースを作る予定でした。
おもちゃの病院	全６事業 ３回中止 ３回実施　１２件 偶数月の土曜日開催 「いせさきおもちゃの病院・もろ」によるおもちゃ修理
ドレミタイム	全３８事業 ２１回中止 １７回実施　２１５人 金曜日開催 幼児と保護者対象のリズム遊び、ふれあい遊びなどを実施しました。
子育て支援	全１１事業 ６回中止 ５回実施　６８人 水曜日又は木曜日開催 手形スタンプを作りました。読み聞かせをする予定でした。
親子クラブ	年３９事業 １８回中止 ２１回実施 月曜日　１６組 ２歳以上の幼児と母親を対象に一年間活動をしました。

大型事業	全３事業　中止 ・こどもの日行事、夏まつり、こども文化祭　等
こどもの国リモートフェスティバル	全３事業 １回実施　ころころ虫　５人 ２回中止　ボールキャッチ（1/16）、くるくるレインボー（2/20）
消防訓練	２回実施 １回目　８人（職員） ２回目　３７人（親子クラブ・来館者・職員）

（９）境児童センター

「子どもたち」やその子どもを育てる親、そして、親子を見守る地域を視野に入れ、児童に健全な遊びの場を提供し、豊かな心を育てる場所となり、児童福祉の推進の強化と子育て支援活動の充実・利用者の利便性の向上と地域拠点施設として適正な事業を図りました。

Ⅰ　年間利用者数　（単位：人）

利用者別／年度	幼児	小　学　生		中学生	高校生	一般	合計
		1～3 年	4～6 年				
令和３年度	2,628	314	191	98	6	2,159	5,396
令和２年度	1,502	217	578	77	9	1,429	3,812

・年間開所日数　２０１日（前年度１７２日）
・開所時間　　午前９時３０分～午後６時
・新型コロナウイルス感染症予防による施設の対応
　５月５日～６月２０日　使用中止
　８月５日～１０月７日　使用中止

Ⅱ　行事実施状況

利用者の増加を図るために実施した行事内容は次のとおりです。

行　事　名	内　容
ぬりえ大会	春休み（14 日間）、夏休み（16 日間）募集し、期間終了後約 2 週間程度の期間に館内展示しました 延べ参加者 115 名
土日の一般事業	シャボン玉遊び、ラミネーター工作、季節の工作　ほか 実施回数 7 回、延べ参加者 76 名
ベビーヨガ	実施回数 1 回、参加者 8 名
まめっこ広場	季節の工作、手形をとろう　ほか 実施回数 5 回、延べ参加者 68 名

親子クラブ	市内在住の 2 歳以上の子どもと母親を対象に 1 年間活動しました 実施回数 11 回、延べ参加者 134 名（6 組、月 2 回木曜日実施）
こどもの国リモートフェスティバル	ボールキャッチづくり、恐竜のたまごづくり 実施回数 4 回、延べ参加者 44 名
消防訓練	実施回数 1 回、参加者 5 人
不審者対応訓練	実施回数 1 回、参加者 5 名

(10) 赤堀児童館

未就学児童とその保護者を対象に行っている子育て支援と「放課後児童クラブ」の管理運営を行っています。また、一般の人々を対象にした「わくわくサタデー」・工作教室などの文化体験事業を行い、地域に根を下ろした児童館活動を実施しました。

Ⅰ　年間利用者数　（単位:人）

利用者別	幼児	小学生			中学生	高校生	一般	合計
		児童クラブ	1～3 年	4～6 年				
令和３年度	555	14,927	240	388	56	7	493	16,666
令和２年度	1,038	13,695	114	91	15	2	1,104	16,059

・年間開所日数　２９３日（前年度２９３日）

・開所時間　　午前９時３０分～午後６時

（放課後児童クラブについては放課後～午後７時、学校休業日は午前８時～午後７時）

・新型コロナウイルス感染症予防による施設の対応

５月５日～６月２０日　使用中止　放課後児童クラブは通常通り

８月５日～１０月７日　使用中止　放課後児童クラブは通常通り

１月２１日～３月３１日　児童館機能は平日の午前中のみ開所

放課後児童クラブは通常通り

Ⅱ　行事実施状況

利用者の増加を図るため実施した行事内容は次のとおりです

行　事　名	内　容
あそびの教室 毎月第２・４水曜日	６月２３日（水）～年間６回実施 「七夕制作」他 延べ参加者：９７人（幼児と保護者）
わくわくサタデー 月１回 土曜日	４月１７日（土）～年間４回実施 「アイロンビーズ」他 延べ参加者：４２人（小学生）

おはなしニコニコ 毎月第1・3金曜日	４月１６日（金）～年間７回実施 サリーちゃん・パネルシアター・紙芝居他 延べ参加者:３３人
放課後児童クラブ行事 ・月１回誕生会 ・月１～２回の遊び	４月８日～年間３９回実施 誕生日会・宝さがし遊び他 延べ参加者:２，２０４人
・季節毎の壁面作り	季節の壁面作り　年間５回実施 延べ参加者:１６８人
読み聞かせ 毎月第２・４木曜日	４月１日～年間２７回実施 絵本の読み聞かせ他 延べ参加者:１，１４９人
ベビーマッサージ 教室	４月２１日（水）～年間３回実施 ベビーマッサージ 延べ参加者：３０人　定員５組
防犯訓練 防火防災訓練	・７月２６日（月）伊勢崎警察署指導による防犯教室及び不審者避難訓練　参加者:７２人(児童・職員) ・１０月１５日（金）赤堀消防署指導による避難消火訓練 参加者７３人(児童・職員)

(11) 赤堀南児童館

未就学児とその保護者が対象の子育て支援事業と小学校の児童が対象の放課後児童クラブ事業を行いました。また、学校や地域の人々と連携を図り、地域に根を下ろした児童館活動を行いました。

Ⅰ　年間利用者数　（単位:人）

利用者別	幼児	小学生			中学生	高校生	一般	合計
		児童クラブ	1～3年	4～6年				
令和３年度	541	15,998	92	31	0	0	483	17,145
令和２年度	616	12,180	54	15	0	2	575	13,442

・年間開所日数　２９３日（前年度２９３日）

・開所時間　　午前９時３０分～午後６時

（放課後児童クラブについては放課後～午後７時、学校休業日は午前８時～午後７時）

・新型コロナウイルス感染症予防による施設の対応

５月５日～６月２０日　使用中止　放課後児童クラブは通常通り

８月５日～１０月７日　使用中止　放課後児童クラブは通常通り

１月２１日～３月３１日　児童館機能は平日の午前中のみ開所

放課後児童クラブは通常通り

Ⅱ　行事実施状況

利用者の増加を図るため実施した行事内容は次のとおりです。

行　事　名	内　容
あそびの教室 毎月第２・４火曜日	４月１５日（木）～年間９回実施 七夕飾りづくり他 延べ参加者１９０人
わくわくサタデー 月１回　土曜日	４月２４日（土）～年間６回実施 プラバンづくり他 延べ参加者７２人
赤ちゃんいらっしゃい！ 毎月第１・３木曜日	４月１５日（木）～年間９回実施 わらべ唄あそび、マムリズム他 延べ参加者９０人
放課後児童クラブ行事 月１回 誕生会 月 1～3 回 遊び行事 あそびの月間	４月８日（木）～年間３６回実施 はじめましての会他 延べ参加者３，６３１人 あそびの月間１０回実施 延べ参加者２，０６３人
おはなしタイム 毎週土曜日	４月３日（土）～年間４９回実施 なぞなぞ、紙芝居、絵本、他 延べ参加者３５５人
消防等避難訓練 年３回	５月２６日（水）　避難訓練［地震から火災］ ６月２１日（月）　防犯訓練［不審者］ １０月７日（木）　総合訓練［地震から火災］

２月及び３月は新型コロナウイルス感染拡大防止対策として、児童館事業はすべて中止としました。

(12) 赤堀あさひ児童館

未就学児童とその保護者を対象に行っている子育て支援事業と「放課後児童クラブ」の管理運営事業を行なっています。また、一般の人々を対象にした遊びの紹介や工作教室などの文化体験事業、学校や地域と連携し地域に根を下ろした児童館活動を行いました。

Ⅰ　年間利用者数　（単位:人）

利用者別	幼児	小　学　生			中学生	高校生	一般	合計
		児童クラブ	1～3 年	4～6 年				
令和３年度	303	16,297	50	53	10	1	494	17,208
令和２年度	290	14,694	17	28	0	1	562	15,592

・年間開所日数　２９３日（前年度２９３日）

・開所時間　　午前９時３０分～午後６時

（放課後児童クラブについては放課後～午後７時、学校休業日は午前８時～午後７時）

・新型コロナウイルス感染症予防による施設の対応

５月５日～６月２０日　使用中止　放課後児童クラブは通常通り

８月５日～１０月７日　使用中止　放課後児童クラブは通常通り

１月２１日～３月３１日　児童館機能は平日の午前中のみ開所

放課後児童クラブは通常通り

Ⅱ　行事実施状況

利用者の増加を図るため実施した行事内容は次のとおりです。

行　事　名	内　容
あそびの教室 毎月第３水曜日	５月１９日(水）～年間１０回予定し５回実施しました しゃぼん玉やハロウィン、タンバリン作り、クリスマス会などを実施、コロナ対策により７組限定で予約制 延べ参加者　　３６人
わくわくサタデー 毎月第１土曜日	５月１日（土）～年間９回予定し５回実施しました 母の日プレゼントやアイロンビーズ、しおり作りなど、コロナ対策により１０組限定で予約制 延べ参加者　　４８人
ぴこぴこルーム 毎週　月曜日 ９月から第１・３月曜日	４月１２日（月）～年間３０回予定し９回実施しました 手遊び・絵本・紙芝居の読み聞かせ 延べ参加者　　３４人
ぴこぴこたいそう 毎週　木曜日 ９月から第２・４木曜日	４月１５日（木）～年間３０回予定し６回実施しました ふれあい遊びや体操をする コロナ対策により７組限定で予約制 延べ参加者　　２２人
子育て支援 ぺったんてがた 隔月　金曜日	４月１６日（金）～年間４回予定し３回実施しました 成長記念に手や足の手形を台紙にとる 延べ参加者　　３０人
放課後児童クラブ行事 月１回 誕生会 年５回サッカー 月２回 わんぱく製作・あそび他	４月１２日（月）～年間４０回予定し３７回実施しました 対面式、巨大こいのぼり、七夕飾り、アロマ消臭剤づくり、リバーシ大会、うちわ作り、テーブルホッケーや季節行事など コロナ対策により、中止や事業変更をしました 延べ参加者　２，４９２人
放課後児童読み聞かせ（おはなしパーク） 毎週火曜日 ９月から第１・３火曜日	４月１３日（火）～年間１９回予定し１９回実施しました 絵本の読み聞かせ・紙芝居 延べ参加者　　４８０人
地震・不審者・火災等避難訓練 年３回予定	５月２４日（月）　地震避難訓練　　参加者７１人 ７月２７日（火）　不審者侵入・防犯訓練　参加者５５人 １２月１６日（木）　総合消防訓練　　参加者７６人

(13) きく児童館

児童に健全な遊びの場を提供することにより、児童の健康増進と情操豊かな心を身に付けました。また、子育て支援の拠点となる場を提供するとともに、放課後児童クラブの管理運営を行いました。

Ⅰ　年間利用者数　（単位:人）

利用者別	幼児	小学生			中学生	高校生	一般	合計
		児童クラブ	1～3年	4～6年				
令和３年度	297	11,155	94	232	4	2	297	12,081
令和２年度	226	8,037	57	42	9	0	231	8,602

・年間開所日数　２９３日（前年度２９３日）
・開所時間　　午前９時３０分～午後６時
（放課後児童クラブについては放課後～午後７時、学校休業日は午前８時～午後７時）
・新型コロナウイルス感染症予防による施設の対応
５月５日～６月２０日　使用中止　放課後児童クラブは通常通り
８月５日～１０月７日　使用中止　放課後児童クラブは通常通り
１月２１日～３月３１日　児童館機能は平日の午前中のみ開所
放課後児童クラブは通常通り

Ⅱ　行事実施状況

利用者の増加を図るために実施した行事内容は次のとおりです。

行事名	内容
児童館事業 プラバン作り	４月９日（金） プラスチック板を使ってオリジナルキーホルダーを作って楽しみました。 参加者　１３人
児童クラブ事業 ラベンダースティック作り	６月２１日（月） ラベンダーの花を編み込んでスティックを作り、花の香りや置物として楽しむことができました。 参加者　１０人
子育て支援事業 きしゃぽっぽスペシャル	７月１２日（月） 外部講師を招いて、歌に合わせたリズム遊びや絵本の読み聞かせなどで楽しむことができました。 参加者　１６人（８組の親子）
児童館事業 せっけん粘土作り	８月　２日（月） 片栗粉とハンドソープを混ぜることで粘土ができる不思議を学ぶことができました。 参加者　１０人

児童クラブ事業 カプラを楽しむ	９月２９日(水) ぐんまこどもの国から借用したカプラを使い、色々な造形を楽しむことができ、崩すときに出る音も楽しむことができました。 参加者　５０人
子育て支援事業 クリスマス飾り作り	１１月２２日（月） まつぼっくりを使ってクリスマス飾りを、親子で相談・協力しながら作ることができました。 参加者　１２人（６組の親子）
子育て支援事業 クリスマス会	１２月　６日（月） 外部講師を招いて、リズムに合わせて運動を親子で仲良く楽しむことができました。最後に、サンタクロースからプレゼントをもらって１日を楽しむことができました。 参加者　１２人（６組の親子）
児童館事業 ミニギター作り	１２月２０日(月) カップ麺のカップを再利用してミニギターを作り楽しむことができました。 参加者　１０人
児童クラブ事業 上毛かるた大会	１月　７日(金) 群馬県の伝統的な「上毛かるた」を学ぶとともに、順位を競って楽しむことができました。 参加者　３５人
児童館事業 びっくり箱作り	２月２５日(金) 牛乳パックを再利用して作ったびっくり箱で楽しむことができました。 参加者　１０人
その他事業 おきあがりこぼし作り	３月１０日(水)　【ぐんまこどもの国リモートフェスティバル】 カプセルの内側におもしをつけ、外側を色紙で飾り付けて動きの不思議を楽しむことができました。 参加者　３７人
避難訓練(地震・火災) 不審者訓練	地震(2 回)　8 月 11 日＝23 名　11 月 15 日＝59 名 火災(2 回)　9 月 16 日＝54 名　2 月 18 日＝28 名 不審者(1 回)　5 月 11 日＝58 名

以上の行事の他に児童館行事として、毎週月曜日「おはなしきしゃぽっぽ」、毎週水曜日「おはなしのへや」を計画しましたが、コロナの感染状況で一部中止としました。また、児童クラブ行事として、「こま・まり・あやとり検定」「マンカラ大会」などを計画しましたが、中止又は少人数での実施としました。

(14) さざんか児童館

児童に健全な遊びの場を提供することにより、児童の健康を増進し、情操を豊かにすることを目的として、児童館の管理運営を行いました。放課後児童クラブ及び育児サークルの活動の支援を行いました。

Ⅰ　年間利用者数　（単位:人）

利用者別	幼児	小学生			中学生	高校生	一般	合計
		児童クラブ	1～3年	4～6年				
令和３年度	240	17,827	89	101	2	1	253	18,513
令和２年度	264	14,162	25	32	0	0	241	14,724

・年間開所日数　２９３日（前年度２９３日）

・開所時間　　午前９時３０分～午後６時

（放課後児童クラブについては放課後～午後７時、学校休業日は午前８時～午後７時）

・新型コロナウイルス感染症予防による施設の対応

５月５日～６月２０日　使用中止　放課後児童クラブは通常通り

８月５日～１０月７日　使用中止　放課後児童クラブは通常通り

１月２１日～３月３１日　児童館機能は平日の午前中のみ開所

放課後児童クラブは通常通り

Ⅱ　行事実施状況

利用者の増加を図るため実施した主な行事内容は、次のとおりです。

行事名	内容
どろだんご週間 表彰式	５月１０日（月）～１４日（金） ５月１０日からどろだんご週間とし、表彰式を行いました。 参加者　７０人
七夕飾り工作	６月２８日（月）～３０日（水） 七夕飾りを作り竹に飾りました。 参加者　８１人
折り染め体験	８月２日（月）～６日（金） 文集の表紙用に作成しました。 参加者　９０人
アロマ消臭剤づくり	９月７日（火）～１０日（金） ビーズ等を利用し安全で個性的な消臭剤を作りました。 参加者　７４人
マンカラ大会	１０月２８日（木） マンカラ大会を開催し、向上心を養うことができました。 参加者　３５人

あそびの検定 表彰式	１月３１日（月）～２月４日（金）　表彰式を９日（水）に実施 一年間の集大成として検定をし、表彰を行いました。 参加者　９０人

以上の他に、イースターのたまごを見つけよう、クリスマス会、おはなしゆりかごスペシャル、ベーゴマにチャレンジなどを行いました。

(15) あやめ児童館事業

児童に健全な遊びの場を提供し、児童の健康増進と情操を豊かにすることや、幼児を持つ母親たちの情報交流等の場としての充実を図るなど、子育て支援を実施し、また、放課後児童クラブの運営を行いました。

Ⅰ　年間利用者数　（単位:人）

利用者別	幼児	小　学　生			中学生	高校生	一般	合計
		児童クラブ	1～3 年	4～6 年				
令和３年度	477	14,065	120	77	65	22	497	15,323
令和２年度	582	13,410	100	115	53	4	637	14,901

・年間開所日数　　２９３日（前年度２９３日）

・開所時間　　午前９時３０分～午後６時

（放課後児童クラブについては放課後～午後７時、学校休業日は午前８時～午後７時）

・新型コロナウイルス感染症予防による施設の対応

５月５日～６月２０日　使用中止　放課後児童クラブは通常通り

８月５日～１０月７日　使用中止　放課後児童クラブは通常通り

１月２１日～３月３１日　児童館機能は平日の午前中のみ開所

放課後児童クラブは通常通り

Ⅱ　行事実施状況

・利用者の増加を図るため実施した行事内容は次のとおりです。

行　事　名	内　容
児童クラブ事業 児童館内探検 (1 年生)	４月２日（金） 新１年生のクラブ員に、あやめ児童館内外を紹介しルールや使い方を説明しました。 参加者　１５名
児童クラブ事業 対面式	４月１２日（月） 新１年生と継続児の顔合わせの会で、児童館の遊びを、上級生が、紹介実演し、交流を深めました。 参加者　６７名

避難訓練	４月２７日（火）　　９月３０日（木） １．児童への事前説明 ２．火災発生（通報、初期消火） ３．避難、人員確認 参加者　４月２７日（火）６３名　　９月３０日（木）４３名
児童館事業 星まつり	７月３日（土） 七夕の笹飾りを作って楽しみました。 参加者　１１名
児童クラブ事業 ペットボトル工作	８月３日（火）～７日（土） ペットボトルで風鈴を作りました。 参加者　５３名
児童クラブ事業 お化け屋敷	８月２４日（火） お化け屋敷をして楽しみました。 参加者　４８名
児童館事業 エンジョイリトミック	１１月６日（土） 音楽を通じて身体を動かして楽しみました。 参加者　１２名
児童クラブ事業 クリスマス会	１２月１日（水） 子ども達によるハンドベルの演奏や職員によるパネルシアター　ペープサウトなどを行いました。 参加者　６８名
児童館事業 しめ縄作り	１２月２５日(土) お正月飾りのしめ縄を作りました。 参加者　１６名
児童館事業 羊毛つんつん	１月２６日（水） 羊毛フェルトで小物を作りました。 参加者　６名
児童クラブ事業 みんなでワイワイ	３月２３日(水) １年間のスライドショーやゲームコーナー、また子ども達の手作り文集を配布しました。 参加者　６３名

以上の行事の他に、児童館事業として、空手道場、春のお茶会等を、また児童クラブ事業として、カレーパーティー、焼きまんじゅうを食べよう会等を計画しましたが、新型コロナウイルスの感染症拡大防止の観点から実施することができませんでした。なお実施した事業については、人数制限及び時間短縮をするなど感染症対策を図りました。

２．いせさき絆コンサートの開催

地域で共に助け合い支え合う絆づくりを推進するため、高齢者入浴施設を活用したコンサートを開催し、市民の交流機会創出を図る。

○開催状況

	開催回数	出演者数	
		団体	個人
令和３年度	0	0	0
令和２年度	0	0	0

３．社会福祉会館の管理

社会福祉協議会総務企画課、地域福祉推進課、在宅福祉課、施設管理課が事務所を置き、地域福祉の増進、介護保険事業、ボランティア活動の増進、心配ごと・結婚相談事業、福祉団体の活動援助等の機能が充分に発揮されるよう運営しました。

また、会館内に伊勢崎歯科医師会、伊勢崎市薬剤師会の２団体が入居しているほか、以下の通り会議室の使用がありました。

○会議室使用状況　（単位:人）

	４階第１会議室 利用者数	４階第２会議室 利用者数	４階第３会議室 利用者数	合計
令和３年度	2,895	0	552	3,447
令和２年度	2,168	534	531	3,233